

生物生産科学科
Agro-Forest Biology

栽培植物生産学

Agronomy and Horticulture

稲葉 久仁雄 ・ 今木 正
Kunio INABA Tadashi IMAKI
山村 宏 ・ 細木 高志
Hiroshi YAMAMURA Takashi HOSOKI
板村 裕之 ・ 小葉田 亨
Hiroyuki ITAMURA Tohru KOBATA
太田 勝巳 ・ 小林 和広
Katsumi OHTA Kazuhiro KOBAYASHI

〔論文〕

1. Rate of development of postanthesis water deficits and grain filling of spring wheat. KOBATA, T., J. A. PALTA and N. C. TURNER, Crop Sci., **32**: 1238-1242, 1992.
2. 水田条件下における蒸発要求に対するイネ葉身水ポテンシャル反応. 第1報 生育にともなう変化. 小葉田亨・塩野健児・武井利彰・勝部淳史・今木 正, 日作紀, **62**: 9-16, 1993.
3. 同. 第2報 生育, 収量との関係. 小葉田亨・塩野健児・武井利彰・勝部淳史・宇高信一郎・今木 正, 同, **62**: 17-26, 1993.
4. 山陰地域の冬期強風による茶樹の葉身被害の発生. 第1報 圃場で観察される葉身水ポテンシャルの低下と被害発生との関係. 福田 晟・山谷 聡・小葉田亨・今木 正, 同, **62**: 188-192, 1993.
5. 同. 第2報 葉身水ポテンシャルの低下の原因としての低温下における葉身と根の水通導抵抗の増大. 福田 晟・山谷 聡・小葉田亨・今木 正, 同, **62**: 193-198, 1993.
6. 松江市近郊におけるイグサ栽培について その2. 今木 正, 山陰地域研究 (農山村), **9**: 39-48, 1993.
7. 数種のカキ属植物とカキ品種における耐凍性とアントシアニン形成との関係. 冷 平・板村裕之・山村 宏, 園学雑, **61**: 795-804, 1993.
8. カキ '西条' の長期貯蔵に関する研究. 板村裕之・横井 誠・山村 宏・内藤隆次, 日本食品低温保蔵学会誌, **19**: 14-19, 1993.
9. ガラス室栽培 'マスカット・オブ・アレキサンドリア' ブドウの果実発育に及ぼす着果位置の影響. 内藤隆次・横井 誠・板村裕之, 近畿中国農研, **85**: 36-41, 1993.
10. In vitro mass-propagation of Chinese artichoke (*Stachys sieboldii* Miq.). HOSOKI, T. and T. YASUFUKU, Acta Horticulturae, **319**: 149-152, 1992.
11. In vitro propagation of *Salvia leucantha* Cav.. HOSOKI, T. and Y. TAHARA, Hortscience, Sci., **28**: 226, 1993.
12. 水耕ミニトマトの裂果発生の品種間差異について. 太田勝巳・伊藤憲弘・細木高志・戒田昌子, 近畿中国農研, **85**: 46-49, 1993.

〔学会発表等〕

1. イネの乾物生産における植被の気孔抵抗及び境界層抵抗の重要性. 足立文彦・小葉田亨・有本雅幸・今木 正, 日作紀, **61** (別2): 73-74, 1992.
2. 水稻の水通導抵抗, 気孔伝導度, 日射の乾物転換効率の生育に伴う変化とそれらの相互関係. 有本雅幸・小葉田亨・足立文彦・今木 正, 同, **61** (別2): 75-76, 1992.
3. 根部加圧によるイネの根の水伝導度の測定と根部導管液の採取. 小葉田亨・小林経浩, 同, **61** (別2): 103-104, 1992.
4. 水稻葉身へのABA 溶液吸収にともなう気孔閉鎖反応. 小葉田亨・原 慎一, 同, **62** (別1): 142-143, 1993.
5. 1992年度の島根県各地における水稻日本晴の収量と投下日射量の関係. 小葉田亨・足立文彦・今木 正, 日本作物学会中国支部研究収録, **34**: 62-63, 1993.
6. カキ '西条' と '平核無' 果実におけるエチレン生成の比較. 板村裕之・藤田 憲・山村 宏, 園学雑, **61** (別2): 650-651, 1992.
7. バーベナ・テネラの連続節培養による大量増殖. 細木高志・片平晋一, 同, **62** (別1): 422-423, 1993.
8. 水耕におけるミニトマトの果実品質に関する研究 (第7報) 水分生理からみた培養濃度と裂果発生の関係. 太田勝巳・伊藤憲弘・細木高志・別所崇則, 同, **62** (別1): 30-31, 1993.

〔その他〕

1. A convenient, practical system to monitor plant water status and the evaporative demand of the atmosphere using a filter paper and the pressure chamber technique. KOBATA, T., A. KATUBE, F. ADACHI, M. ARIMOTO and T. IMAKI, Abstr. 1st Int. Crop Sci. Cong. (Iowa), p. 90, 1992.
2. Sterility in rice (*Oriza sativa* L.) subject to drought during the booting stage occurs not because lack of assimilate or water deficit in the shoot but because of dehydration of the root zone. KOBATA, T., S. TANAKA, M. UTSUMI, S. HARA and T. IMAKI, XVth Int. Bot. Cong. (Yokohama), p. 451, 1993.
3. 果樹講座カキ (1) 日本のカキ. 山村 宏, 和歌山の果樹, 44(2):34-37, 1993.
4. 果樹講座カキ (2) 甘ガキと渋ガキ. 山村 宏, 同, 44(4):34-37, 1993.
5. 果樹講座カキ (3) 甘渋の遺伝. 山村 宏, 同, 44(6):26-28, 1993.
6. 果樹講座カキ (4) 花芽形成と体内成分. 山村 宏, 同, 44(8):30-32, 1993.
7. 落葉果樹の基礎講座15 カキの生育特性 (1) 花芽分化～開花結実期. 板村裕之, 果樹, 47(7):26-29, 1993.
8. 落葉果樹の基礎講座16 カキの生育特性 (2) 果実発育～成熟期. 板村裕之, 同, 47(8):12-16, 1993.
9. 日原町の気候風土と果樹栽培. 板村裕之, (日原町フライト農業研究会編「日原町におけるフライト農業の成立条件に関する考察」所収). pp. 12-22, 1992.
10. 野菜・花のフライト農業について. 細木高志, (同), pp. 8-11, 1992.

森林環境学講座

Forestry and Environment

井口隆史・稲田充男
Takashi IGUCHI Mitsuo INADA
片桐成夫・金子信博
Shigeo KATAGIRI Nobuhiro KANEKO
北尾邦伸・長山泰秀
Kuninobu KITAO Yasuhide NAGAYAMA

〔著書〕

1. 森林環境と流域社会. 北尾邦伸, 雄山閣出版, 東京, 243 pp., 1992.
2. 森林の働きとその評価 (国民森林会議編「森とともに生きる」所収). 北尾邦伸, 家の光協会, 東京, pp. 47-68, 1992.
3. 林業調査の方法 (日本村落史講座編集委員会編「日本村落史講座9 特論」所収). 北尾邦伸, 雄山閣出版, 東京, pp. 128-129, 1993.
4. 森林環境評価学の課題 (有木純善編著「国際化時代の森林資源問題」所収). 北尾邦伸, 日本林業調査会, 東京, pp. 279-289, 1993.
5. 真庭地方における林家の素材生産活動について (有木純善編著「国際化時代の森林資源問題」所収). 井口隆史, 日本林業調査会, 東京, pp. 172-184, 1993.
6. 直径および樹高の頻度分布モデルとしての対数正規分布 (島根大学森林環境学講座編「能登のアテ択伐林業」所収). 稲田充男, 森林計画学会出版局, 東京, pp. 15-32, 1993.
7. 混合マルコフ過程を応用した択伐林直径分布モデル (同). 稲田充男, 同, pp. 33-37, 1993.
8. 能登地方アテ丸太材の末口直径と m^2 あたり価格の関係曲線の検討 (同). 稲田充男, 同, pp. 38-42, 1993.
9. アテ択伐施業にともなう林分構造, 成長および光環境の変化について (同). 片桐成夫・金子信博・長山泰秀, 同, pp. 43-60, 1993.
10. 鳳至地域の2つのアテ択伐林の土壌の化学性と林分の栄養分集積量 (同). 長山泰秀・片桐成夫, 同, pp. 61-69, 1993.
11. 表層土砂の移動量と風倒木の切断根径—アテ択伐林とスギ人工林での表層土保全効果の測定— (同) 新村義昭・長山泰秀・片桐成夫, 同, pp. 70-81, 1993.
12. 石川県能登地方のアテ択伐林の暴風被害について

- (同). 片桐成夫・金子信博・長山泰秀, 同, pp. 82-88, 1993.
13. 輪島・鳳至地方の木材流通の再編 (同). 井口隆史, 同, pp. 89-100, 1993.
 14. 輪島地域のアテ林業の現状について (同). 北尾邦伸, 同, pp. 101-107, 1993.

[論文]

1. 森林環境学と鈴木理論. 北尾邦伸, 林業経済, **530**: 22-26, 1992.
 2. 輪島地域のアテ林業の現状について. 北尾邦伸, 林業経済研究, **123**: 168-162, 1993.
 3. ゴルフ場予定地での「生涯学習林」運動—島根県大東町における協定・参加による新たな森林利用—. 北尾邦伸・中野智幸, 山陰地域研究 (森林資源), **9**: 15-27, 1993.
 4. 林家による素材生産活動に関する研究. 井口隆史, 山陰地域研究 (森林資源), **9**: 61-73, 1993.
 5. 新段階の過疎化と山村社会構造の変貌. 井口隆史, 林業経済研究, **124**: 22-30, 1993.
 6. コナラの優占する落葉広葉樹林における枯死有機物量とその分解について. 片桐成夫・長山泰秀・金子信博, 島根大農研報, **26**: 1-8, 1992.
 7. 少保育のもたらす雪害と物質循環の影響. 片桐成夫, 森林科学, **7**: 20-27, 1993.
 8. 石川県能登地方のアテ択伐林の暴風被害について. 片桐成夫・金子信博・長山泰秀, 山陰地域研究 (森林資源), **9**: 43-49, 1993.
 9. 森林土壌の異なる層位の窒素無機化速度測定における乾土効果の発現. 長山泰秀. 第103回日本林学会大会発表論文集, pp. 243-244, 1992.
 10. 島根大学三瓶演習林の最上流域に設定された微小流域における水文観測 (2) 新村義昭・長山泰秀・金子信博・片桐成夫, 山陰地域研究 (森林資源), **9**: 51-56, 1993.
 11. 直径および樹高の頻度分布モデルとしての対数正規分布. 稲田充男, 森林計画学会誌, **19**: 43-60, 1992.
 12. 混合マルコフ過程を応用した択伐林直径分布モデル. 稲田充男, 島大農研報, **26**: 9-13, 1992.
 13. 能登地方アテ丸太材の末口直径と m^2 あたり価格の関係曲線の検討. 稲田充男, 島大農研報, **26**: 15-19, 1992.
 14. 良質材生産を目的とするヒノキ林の直径分布と樹高分布. 稲田充男, 山陰地域研究 (森林資源), **9**: 29-42, 1993.
 15. ビデオカメラによる樹高測定. 稲田充男・小山正裕, 日本林学会関西支部論文集, **2**: 31-32, 1993.
 16. ビデオカメラによる上部直径の測定. 稲田充男・小山善寛, 同, **2**: 33-34, 1993.
 17. 松くい虫被害量推移モデルの誘導. 稲田充男, 同, **2**: 45-46, 1993.
 18. 測樹器としてのビデオカメラの利用. 稲田充男・小山善寛・小山正裕, 林業技術, **612**: 31-34, 1993.
 19. ビデオカメラによる上部直径測定の実用性. 稲田充男・小山善寛, 日本林学会誌, **75**: 452-454, 1993.
- [学会発表等]
1. 森林土壌の立地要因の分布 (I) —小プロット内の表層土壌の諸化学性の平面的ばらつき— 山本光一・長山泰秀・片桐成夫. 日本林学会関西支部第43回大会講演要旨集, p. 37, 1992.
 2. スギ人工林の細根量の季節変化について. 雑賀謙彰・長山泰秀・片桐成夫・新村義昭. 同, p. 74, 1992.
 3. 森林土壌での窒素無機化の乾土効果への風乾程度の影響. 長山泰秀・真藤恭子・片桐成夫. 第104回日本林学会大会講演要旨集, p. 99, 1993.
 4. ササラダニとトビムシを用いたマイクロコズム実験. 金子信博・M. MACLEAN・D. PARKINSON, 第40回日本生態学会大会講演要旨集, p. 232, 1993.
 5. マツ針葉上の糸状菌に対するササラダニとトビムシの餌嗜好性の比較. 金子信博・M. MACLEAN・D. PARKINSON, 第16回日本土壤動物学会大会講演要旨, p. 14, 1993.
 6. 三瓶演習林のコナラ林土壌におけるササラダニ3種の食性解析に関する研究. 角南桂子・金子信博, 同, p. 16, 1993.
 7. インドネシア, カリマンタンの混合フタバガキ林の樹体の養分含有率. 片桐成夫・山倉拓夫, 第3回日本熱帯生態学会講演要旨, p. 21, 1993.
 8. 中国江西省九連山自然保護区の常緑広葉樹林の組成と構造. 川口英之・李昌華・片桐成夫・岩坪五郎, 同, p. 17, 1993.
 9. Comparison of nutrient cycle between reserved evergreen broad-leaved and deteriorated-forest. IWATSUBO, G., C. H. LI, S. KATAGIRI, Abst. XVth Int. Bot. Cong. (Yokohama), p. 55, 1993.
 10. ビデオカメラによる樹高測定. 稲田充男・小山正裕, 日本林学会関西支部第43回大会講演要旨集, p. 18,

- 1992.
11. ビデオカメラによる上部直径の測定. 稲田充男・小山善寛, 同, p. 19, 1992.
 12. 松くい虫被害量推移モデルの誘導. 稲田充男, 同, p. 23, 1992.
 13. ビデオカメラによる上部直径測定の実用性. 稲田充男・小山善寛, 第104回日本林学会大会要旨集, p. 59, 1993.
 14. 上部直径分布による林分構造表現の試み. 稲田充男・小山善寛, 同, p. 59, 1993.
 13. Effects of sewage-water Spraying on the mineral cycling in a forest ecosystem. In L. RASMUSSEN, *et al.*, (eds.), *Experimental Manipulations of Biota and Biogeochemical Cycling in Ecosystems - Approach - Methodologies - Findings*. IWATSUBO, G. and Y. NAGAYAMA, Commission of European Communities (Copenhagen), pp. 78-83, 1992.

〔その他〕

1. 輪島・鳳至地域における複層林施業 (アテ択伐林業) に関する研究. 安井 鈞・北尾邦伸・片桐成夫・井口隆史・金子信博・稲田充男・長山泰秀・新村義昭, 平成 4 年度文部省科学研究費 (一般B) 研究成果報告書, 153 pp., 1993.
2. これからの社会と森林・林業. 北尾邦伸, 林業技術, **613**: 2-6, 1993.
3. 風景としての速水林業. 北尾邦伸・中川幸恵, 国民と森林, **44**: 4-7, 1993.
4. 希望をもった若者の林業労働への定着. 中川幸恵・北尾邦伸, 森林組合, **278**: 16-21, 1993.
5. 資源・環境保全型農林業をより具体的に. 北尾邦伸, 月刊自治研, **408**: 93-96, 1993.
6. いま労働組合の政策を問うー中山間地域の再生のためにー 北尾邦伸・加藤秋男・景山 実・堀井 修, 月刊農業・食料, **390**: 5-10, 1993.
7. 斐伊川流域林業活性化基本方針書. 北尾邦伸, 斐伊川林業活性化センター, 32 pp., 1993.
8. 海山町定点調査を終えて. 北尾邦伸・半田良一・内山節・速水 勉他, 国民と森林, **46**: 4-10, 1993.
9. 過疎山村の林業生産と環境政策に関する研究. 北川泉・井口隆史・伊藤勝久, 平成 3~4 年度文部省科学研究費 (一般B) 成果報告書, 59 pp., 1993.
10. 21世紀への提言. 井口隆史, 島根県企画振興部企画調整課, 1993.
11. 熱帯湿地林のクマムシ. 金子信博・伊藤雅道, *Edaphologia*, **49**: 43, 1992.
12. Swamp forest and tropical peat in Johor, Malaysia. In AMINUDDIN, B. Y.(ed) *Tropical Peat*. KYUMA, K., N. KANEKO, A. B. ZAHAI and K. AMBAK, Int. Symp. Tropical Peatland, 1991. (Kuching), pp. 300-306, 1992.

環境生物学

Environmental Biology

駒田 旦・野津 幹雄
Hajimu KOMATA Mikio NOZU
前田 泰生・本田 雄一
Yasuo MAETA Yuichi HONDA
北村 憲二・山本 広基
Kenji KITAMURA Hiroki YAMAMOTO
荒瀬 栄・星川 和夫
Sakae ARASE Kazuo HOSHIKAWA
長縄 貴彦
Takahiko NAGANAWA

[著書]

1. 糸状細菌研究法, 選択培地の種類と作製法 (脇本哲監修「植物病原性微生物研究報」所収). 駒田 旦, ソフトサイエンス社, 東京, pp. 5-13, 1993.
2. 農薬と土壌および土壌微生物 (農文協編「農業技術体系土壌施肥編追録第4号」所収). 山本広基, 農山村文化協会, pp. 25-31, 1993.
3. 第13章 土壌中における代謝と分解 (矢島治明監修「続医薬品の開発 第18巻農薬の開発II」所収). 山本広基, 廣川書店, 東京, pp. 353-369, 1993.
4. 第7章 マメコバチを利用したリングの受粉 (井上民二・加藤 真編「花に引き寄せられる昆虫」所収). 前田泰生, 平凡社, 東京, pp. 195-232, 1992.
5. イワツヤハナバチの社会 (井上民二・山根爽一編「昆虫社会の進化」所収). 前田泰生, 博品社, 東京, pp. 3-33, 1993.

[論文]

1. 養液栽培における, 非病原性 *Fusarium oxysporum* によるトマト萎ちょう病の生物防除. 駒田 旦・磯崎真英・山本広基, 島根病虫研報, **18**:27-30, 1993.
2. A plate count method for aerobic cellulose decomposers in soil by congo red staining. SUYAMA, K., H. YAMAMOTO, T. NAGANAWA, T. IWATA and H. KOMADA, Soil Sci. Plant Nutr., **39**:361-365, 1993.
3. Effect of long-term application of a fungicide, chlorothalonil, on cellulose decomposition and microflora in soil under upland conditions.

- SUYAMA, K., H. YAMAMOTO, K. TATSUYAMA and H. KOMADA, J. Pesticide Sci., **18**:225-230, 1993.
4. Concentration dependence of CO₂ evolution from soil in chamber with low CO₂ concentration (<2,000 ppm), and CO₂ diffusion/Sorption model in soil. NAGANAWA, T. and K. KYUMA, Soil Sci. Plant Nutr., **37**:381-386, 1991.
 5. Improvement of biological productivity in degraded lands in Thailand II. Influence of soil temperature, moisture, and fertility on plant growth in the Takuapa experimental site. SAKURAI, K., B. PRACHAIYO, B. ATTANANDANA, V. TANPIBAL, S. ARAKI, T. NAGANAWA, G. IWATSUBO, and K. YODA, Tropics, **1**:113-130, 1991.
 6. Multiple regression method for estimating rates of weathering and soil formation in watersheds. WAKATSUKI, T., A. RASYDIN and T. NAGANAWA, Soil Sci. Plant Nutr., **39**:153-159, 1993.
 7. Suppression of brown spot disease of cultivated chrysanthemum by manipulating phototropic response of conidium germ tubes of *Septoria obesa*. HONDA, Y., T. KASHIMA and T. KUMAGAI, J. Phytopath., **136**:270-278, 1992.
 8. Effect of thermal and cycloheximide pretreatment on light-dependent necrosis formation to rice leaves by *Pyricularis oryzae* toxin(s). ARASE, S., Y. YAMAJI, M. IEDOME, Y. HONDA and M. NOZU, Ibid., **138**:105-110, 1993.
 9. *Pestalotiopsis* 属3種の分生子とその形成・発芽についての走査電子顕微鏡像. 周藤靖雄・田平弘基・野津幹雄, 島根病虫研報, **18**:3-11, 1993.
 10. ナシ黒斑病菌 (*Alternaria alternata*) の光に対する胞子形成反応. 戸川弘行・本田雄一, 同, **18**:31-41.
 11. Diapause and non-delayed eusociality in a univoltine and basically solitary bee *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Anthophoridae). I. Diapause termination by cooling and application of juvenile hormone analog. MAETA, Y., K. SAITO, K. HYODO and S. F. SAKAGAMI, Jpn. J. Ent., **62**:203-211, 1993.
 12. Pollination of strawberry by the stingless bee, *Trigona minagkabau*, and the honey bee, *Apis mellifera*: An experimental study of fertilization

- efficiency. KAKUTANI, T., T. INOUE, T. TEZUKA and Y. MAETA, Res. Popul. Ecol., **35**:95-111, 1993.
13. 紫外線除去フィルムが3種のハナバチ類の外役動に及ぼす影響. 手塚俊行・前田泰生, 応動昆, **37**:175-180, 1993.
 14. 光質環境の調節による害虫の制御に関する研究. III. 異なった光質環境におけるタカラダニの一種及びニセラーゴカブリダニの走光性と発育. 北村憲二・峠和隆, 島根病虫研報, **17**:17-26.
 15. Sugar accumulation in hibernating adult bees: An example of the unique energy reservoir for hibernation. HOSHIKAWA, K., C. KATAGIRI, and S. F. SAKAGAMI, Comp. Biochem. Physiol., **103B**:41-45.
- [学会発表等]
1. 養液栽培におけるトマト萎ちょう病の非病原性 *Fusarium oxysporum* による生物防除. 駒田 旦・磯崎真英・山本広基, 日植病報, **59**:279, 1993.
 2. 養液栽培におけるトマト萎ちょう病のトマト根面細菌による生物防除(予報). 駒田 旦・高橋真也・斉藤修省・山本広基, 同, **59**:315, 1993.
 3. *Fusarium oxysporum* f. sp. *raphani* の厚膜胞子形成とSODの消長. 山本広基・竹内美恵・河野泰久・駒田 旦, 日本微生物生態学会第8回講演要旨集, p. 76, 1992.
 4. 殺菌剤TPN連用土壌におけるセルロース分解活性低下の微生物学的機構(2). 巢山弘介・山本広基・黒川順司・駒田 旦, 日本農薬学会第18回大会講演要旨集, p. 125, 1993.
 5. Recommended tests for assessing the side-effects of pesticides on soil ecosystem. YAMAMOTO, H. Abstract of 1st Int. Symp. Pesticide Sci. (wako), p. 23, 1993.
 6. Efficient bioproduction through light quality control: Some aspects in SUBSEC. HONDA, Y., Proc. 2nd Int. Semi.: Sustainable Bioproduction System on Environmental Conservation (Chinju), pp. 37-42, 1992.
 7. イネいもち病菌の分生胞子発芽液中に存在する毒性物質(9)毒素の感染誘導活性といもち病菌の病原性の関係(続報). 藤田和代・荒瀬 栄・本田雄一・野津幹雄, 日植病報, **59**:18, 1993.
 8. 関口病斑形成に及ぼす光の影響. 福山恵理・荒瀬栄・本田雄一, 平成4年度島根病虫研究会発表, 1993.
 9. イネごま葉枯病菌の胞子形成胞子形成における紫外線と青色光の相互作用. 木原淳一・本田雄一, 同, 1993.
 10. イネいもち病菌の分生胞子発芽液中に存在する毒性物質(10)オオムギ子葉鞘細胞におけるいもち病菌毒素による感染誘導. 藤田和代・荒瀬 栄・本田雄一・野津幹雄, 平成5年度日本植物病理学会講演予稿集, p. 7, 1993.
 11. 水稻ヒメノモチにおける関口病斑の形成. 磯田 淳・門脇義行・福田 誠・荒瀬 栄, 同, p. 61, 1993.
 12. Inhibition of fungal sporulation by ultra-violet-absorbing vinyl film and its application to disease control. HONDA, Y., Proc. 4th Int. Semi.: Sustainable Bioproduction System on Environmental Conservation (Chinju), pp. 13-20, 1993.
 13. Production of host-selective factors produced by germinating spores of *Pyricularia oryzae*. ARASE, S., Y. HONDA, M. NOZU, Abstracts of 6th ICPP (Montreal), p. 223, 1993.
 14. Regulation of the action process of susceptibility inducing factors of rice blast fungus. ARASE, S., The 2nd Tottori Univ. Int. Symp. Host-specific Toxin: Biosynthesis, Receptor and Molecular Biology (Tottori), pp. 30-31, 1993.
 15. ユリ類葉枯病菌 (*Botrytis elliptica*) における子のう盤形成. 塚本俊秀・磯田 淳・本田雄一, 平成5年度日本植物病理学会関西西部会講演予稿集, p. 35, 1993.
 16. Sociabilidad flexible en una abeja de conductasocial primitiva, *Ceratina okinawana* MATSUMURA atsumuraet UCHIDA (Ceratini; Anthophoridae). MAETA, Y. and E. CHIAPPA and S. F. SAKAGAMI, XIII Congreso Nacional de Entomologia, Sociedad Chilena de Entomologia, p. 26, 1991.
 17. 温室内で飼養したスマトラ産ミナンカバウハリナシバチにおける蜜の糖濃度の選択性. 手塚俊行・前田泰生・井上民二, 応動昆中国支報, **34**:57, 1992.
 18. クロツヤハナバチの複メス巢について. 吉田 亮・前田泰生, 同, **35**:32-33, 1993.
 19. キオビツヤハナバチにおける産卵終了要因の分析. 郷原匡史・前田泰生, 日本昆虫学会第52回大会・第

- 36回日本応用動物昆虫学会大会合同大会講演要旨集, p. 65, 1992.
20. キオビツヤハナバチにおける親の投資と性配分. 杉浦直人・前田泰生・郷原匡史, 同, p. 66, 1992.
21. イチゴハウスにおけるマメコバチのポリネーターとしての利用. 灘野宏行・前田泰生, 同, p. 67, 1992.
22. 温室内で飼養したスマトラ産ミナンハリナシバチ *Trigona minangkabau* SAKAGAMI et INOUE の王台の生存率. 手塚俊行・前田泰生・井上民二, 同, p. 68, 1992.
23. パナマ産ハリナシバチ *Scaptotrigona barrocoloradensis* の血縁認識. 須賀 丈・井上民二・山岡亮平・前田泰生, 同, p. 68, 1992.
24. 紫外線除去フィルム被覆ハウス内における3種のポリネーターの行動. 手塚俊行・前田泰生, 応動昆虫中支報, 35:32, 1993.
25. カベハリナシバチにおけるヤグルマギクの花色選択性とその恒久性. 手塚俊行・前田泰生, 日本動物行動学会第11回大会講演要旨集, p. 23, 1992.
26. ハリナシバチとミツバチによるイチゴの送粉: 受精過程モデル化. 角岳岳彦・井上民二・手塚俊行・前田泰生, 日本昆虫学会第53回大会・第37回日本応用動物昆虫学会大会合同大会講演要旨集, p. 15, 1993.
27. 鳥取県大山における野生ブルーベリーの1種オオバスの花蜜分泌パターンと訪花昆虫相. 手塚俊行・前田泰生, 同, p. 16, 1993.
28. 現在の環境アセスメントはどれくらい信頼できるか? 三瓶山蛾群集の解析から. 星川和夫, 日本昆虫学会第52回大会・第36回日本応用動物昆虫学会大会合同大会講演要旨集, p. 112, 1993.
4. データ解釈と評価 (同), 山本広基, 同, pp. 53-62, 1993.
5. バイオマス資源の容器内生産の最適光質環境 (本田雄一代表「生物生産における光質環境の効率的利用に関する基礎的研究」所収). 山本広基, 平成4年度研究費研究成果報告書, pp. 26-29, 1993.
6. 植物と病原糸状菌の相互作用に及ぼす UV-B の影響—植物における UV-B 誘導蛋白の活性解析—. 柴田均・本田雄一・熊谷忠, 東北大学遺伝生態研究センター年報, 1993:38, 1993.
7. 病原糸状菌の形態形成に関与する光の受容機構 (本田雄一代表「生物生産における光質環境の効率的利用に関する基礎的研究」所収). 本田雄一, 平成4年度特定研究費研究成果報告書, pp. 30-37, 1993.
8. 病原糸状菌の毒素の生物活性に及ぼす光の影響. (同). 荒瀬 栄, 同, pp. 38-47, 1993.
9. 宿主識別因子の単離と受容性誘導機構 (甲元啓介代表「宿主特異的毒素に依存する植物感染の分子病理学の樹立」所収). 荒瀬 栄, 平成4年度科学研究費補助金 (総合A) 研究成果報告書, p. 18, 1993.
10. イネいもち病の感染成立機構. 荒瀬 栄, 化学と生物, 31:235-241, 1993.
11. 寄生性の虫の奇妙な変態 (森本 桂編「週刊朝日科動物たちの地球 80」所収). 前田泰生, 朝日新聞社, pp. 234-235, 1992.
12. ネジレバネの過変態 (同). 前田泰生, 同, p. 236, 1992.
13. 単独性ハナバチの生活 (三枝豊平・山根正気編「同81」所収), 前田泰生, 同, pp. 260-263, 1993.
14. ハウス資材, 紫外線除去フィルムが送粉昆虫の採材行動に及ぼす影響. (本田雄一代表「生物生産における光質環境の効率的利用に関する基礎的研究」所収). 前田泰生・手塚俊行, 平成4年度特定研究費研究成果報告書, pp. 58-68, 1993.

[その他]

1. 微生物農薬の現状と今後 (農薬バイオテクノロジー開発技術研究組合編「平成4年度バイオテクノロジー関連技術情報調査報告書」所収). 駒田 旦, バイオテクノロジー開発技術研究組合, 東京, pp. 66-83, 1993.
2. 農薬の環境影響指標生物としての土壌微生物. 植防, 47:347-350, 1993.
3. 土壌および農薬の取り扱い (山本広基代表「土壌生態系に及ぼす農薬の影響評価のための推奨試験」所収). 山本広基, 平成4年度文部省科学研究費補助金 (総合B) 研究成果報告書, pp. 1-8, 1993.

地域開発科学科
Department of Regional
Development

農山村地域経営学

Rural Management

北川 泉 ・ 平塚 貴彦
Izumi KITAGAWA Takahiko HIRATSUKA
仙田 久仁男 ・ 猪股 趣
Kunio SENDA Itaru INOMATA
内田 和義 ・ 伊藤 康宏
Kazuyoshi UCHIDA Yasuhiro ITO

[著書]

1. 過疎山村の現状と森林計画制度 (有木純善編著「国際化時代の森林資源問題」所収). 北川 泉, 日本林業調査会, 東京, pp. 86-98, 1993.
2. 近現代 (池田敬正編「長岡京市史・資料編三」所収). 内田和義, 長岡京市, pp. 351-706, 1993.

[論文]

1. 中山間地域対策をどうするのか. 平塚貴彦, 農業と経済(別冊), pp. 206-213, 1992.
2. 集落営農形成の意義と戦略的課題. 平塚貴彦, 農業問題研究, 28(4): 6-16, 1992.
3. 新政策における構造・経営対策の意義と課題. 平塚貴彦, 農業と経済(別冊), pp. 63-70, 1993.
4. 島根県における近世漁業・漁村史研究の課題と方法. 伊藤康宏, 山陰地域研究(伝統文化), 9: 1-13, 1993.

[学会発表等]

1. 地域漁業史研究の現状と課題. 伊藤康宏, 第40回漁業経済学大会報告要旨集, p. 4, 1993.

[その他]

1. 産業形成論と林業システム化論との総合的理論構築のための実証的研究. 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 平成2年度科学研究費補助金(一般B)研究成果報告書, 77 pp., 1992.
2. 過疎山村の林業生産と環境政策に関する研究. 北川泉・井口隆史・伊藤勝久, 平成3年度科学研究費補助金(一般B)研究成果報告書, 57 pp., 1993.

3. 国土保全と資源維持管理(岩谷三四郎代表「中山間地域振興調査報告」所収). 北川 泉, 中山間地域振興調査研究会, 広島, pp. 10-28, 1993.
4. 新しい価値観「島根らしさ」の構築 (21世紀の島根委員会編「21世紀の島根への提言」所収). 北川泉, 島根県企画振興部. 松江, pp. 5-10, 1993.
5. 統談:山村再生への道. 平塚貴彦, 農林統計調査, 42(10): 2-3, 1992.
6. 新政策時代の農業・農村振興とJAグループの役割. 平塚貴彦・浜田年騏, JA島根中央会, 松江, 74 pp., 1992.
7. 農業の担い手育成・確保と関係機関の対策 (桂 瑛一代表「明石市農業基本計画策定基礎調査報告書」所収). 平塚貴彦, (社)農業開発研修センター, 京都, pp. 48-74, 1993.
8. 宍道町における農業・農村活性化のための基本方向 (全国農業構造改善協会編「島根県宍道町における農業農村活性化推進事業について」所収). 平塚貴彦, 全国農業構造改善協会, 東京, pp. 1-14, 1993.
9. 書評(山本博信著「現代日本の生鮮食糧品流通構造」). 猪股 趣, 農林水産図書資料月報, 44(8) 4-5, 1993.
10. 漁村の定住対策. 伊藤康宏, 自治研島根, 286: 23-32, 1992.
11. 宍道湖沿岸地域における漁業と農業の関連構造分析. 伊藤康宏, 汽水湖研究, 2: 15-23, 1992.
12. 磯資源を守る4地区管理(廣吉勝治代表「平成4年度資源管理型漁業指導普及事業先進事例調査報」所収). 伊藤康宏, 全国漁業協同組合連合会, 東京, pp. 281-288, 1993.
13. 宍道湖の漁業振興にむけて. 伊藤康宏, 汽水湖, 5: 11-15, 1993.
14. 条件不利地域への総合的施策と地域農林水産業の新たな振興(21世紀の島根委員会編「21世紀の島根への提言」所収). 伊藤康宏, 島根県企画振興部, 松江, pp. 55-60, 1993.
15. 漁場相論(細野善彦ら編「日本史大事典第2巻」所収). 伊藤康宏, 平凡社, 東京, pp. 856-857, 1993.
16. 蜆;宍道湖(同「同第3巻」所収). 伊藤康宏, 同, p. 839, 1993.
17. (翻刻)村の日記—江州知内村「記録」(11) 1819-1829. 古川 彰・伊藤康宏, 中京大学社会学部紀要, 7(2): 151-170, 1993.
18. (翻刻)同(12) 1831-1832. 古川 彰・伊藤康宏, 同, 8(1): 177-188, 1993.

農林システム学

Agricultural and Forestry Systems Design

岩尾俊男・中尾清治
Toshio IWAO Seiji NAKAO
濱田年駿・藤浦建史
Toshiki HAMADA Tateshi FUJIURA
渡部晴基・竹山光一
Haruki WATANABE Kouichi TAKEYAMA
伊藤勝久・大森賢一
Katsuhisa ITO Kenichi OMORI
林圭腕
Gyuwan IM

〔著書〕

1. 中国地方における間伐材の流通と加工 (有木純善編「国際化時代の森林資源問題」所収). 伊藤勝久, 日本林業調査会, 東京, pp. 224-236, 1993.

〔論文〕

1. 農山村の持続的開発と景観整備との調和に関する覚書. 伊藤勝久・大森賢一・藤居良夫, 島根大農研報, **26**: 21-26, 1992.
2. 生鮮食料品の購入に関する消費者意識. 伊藤勝久・大森賢一, 山陰地域研究(農山村編), **9**: 87-96, 1992.
3. 地域計画のための住民意識による農村生活環境評価の分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 同, **9**: 97-106, 1992.
4. 農山村地域における居住者の景観およびふるさと意識の統計的分析. 藤居良夫・大森賢一・伊藤勝久, 農土論集, **164**: 25-32, 1992.
5. 農村景観選好の基礎構造-評価因子の析出- 大森賢一・藤居良夫・伊藤勝久, 島大農研報, **26**: 27-32, 1992.
6. 画像処理システムによる青果物の傷検出に関する研究(1)-モモ損傷の検出- 岩尾俊男・李 曉明・藤浦建史・渋澤 栄・竹山光一・毛利建太郎・遠藤準二, 同, **26**: 33-38, 1992.
7. Studies on the rainwater cistern systems: Development of the new tank system against water pollution. TAKEYAMA, K., I. MINAMI, T. IWAO, S. SHIBUSAWA, and G. IM, Proceeding of the 1992 Regional Conference International Rainwater Catchment Systems Association, pp. 476-433,

1992.

8. 農学部情報処理教育でのコンピュータ利用の事例研究. 竹山光一・岩尾俊男・藤浦建史・渋澤 栄, 農土誌, **60(11)**: 29-32, 1992.
9. 農業・農村における情報ネットワークに関する研究-パソコン通信ホスト開局に関する諸問題- 竹山光一・岩尾俊男・渋澤 栄・藤浦建史, 島根大農研報, **26**: 39-43, 1992.
10. トウモロコシ根系パターン形成に対する土壌密度分布の意義. 国立卓生・渋澤 栄・岩尾俊男・藤浦建史, 農業機械学会関西支部報, **73**: 25-28, 1993.
11. トウモロコシ根系パターン形成の階層的モデリング. 渋澤 栄・藤浦建史・岩尾俊男・竹山光一, 農業機械学会誌, **55**: 101-108, 1993.
12. 農産物の分光反射特性とその利用に関する研究. 魏 亜玲・岩尾俊男・藤浦建史・渋澤 栄・李 曉明・伊藤憲弘・毛利建太郎, 農業機械学会関西支部報, **73**: 53-56, 1993.
13. バイオマスペレット用燃焼機の燃焼制御特性(第1報). 林 圭腕・岩尾俊男・藤浦建史・渋澤 栄・竹山光一, 農機誌, **55(3)**: 97-104, 1993.
14. パソコンによる水管理システムの基礎的研究-流量制御システムにおけるポンプ制御プログラムについて- 竹山光一・岩尾俊男・日野道夫, 農業機械学会関西支部報, **74**: 1-2, 1993.
15. 酸性雨の実態とその利用のための水質改善に関する基礎的研究. 竹山光一・岩尾俊男・飯原健一, 同, **74**: 3-4, 1993.
16. パイプラインスタンドシステムにおけるサージング特性の基礎的研究(III)-スタンドを通過することによる伝播の特性について- 竹山光一・岩尾俊男・中村文成, 同, **74**: 5-6, 1993.
17. 雨水貯留タンクシステムにおける汚水及び汚濁物除去の基礎的研究. 竹山光一・岩尾俊男・山形 彰, 同, **74**: 7-8, 1993.
18. バイオマスペレット用燃焼機の燃焼制御に関する研究. 岩尾俊男・渋澤 栄・竹山光一・鈴木利隆・林圭腕・魏 亜玲, 同, **74**: 17-18, 1993.
19. 低密度土壌領域がトウモロコシ根系生長に及ぼす影響. 渋澤 栄・岩尾俊男・藤浦建史・岡本慎司・国立卓生, 同, **74**: 31-32, 1993.
20. 養液栽培用ノズルの溶存酸素特性の改善に関する研究. 岩尾俊男・渋澤 栄・竹山光一・林田国治・房 薇, 同, **74**: 81-82, 1993.

21. 養液栽培における溶存酸素と作物の生長に関する研究. 岩尾俊男・洪澤 栄・原田英明・房 薇, 同, **74**: 85-86, 1993.
 22. 画像処理によるナシの損傷検出. 岩尾俊男・洪澤 栄・鴻上真一・李 晓明, 同, **74**: 139-140, 1993.
 23. 画像処理による青果物の損傷検出システム (第1報) 李 晓明・岩尾俊男・藤浦建史・洪澤 栄・毛利建太郎, 農機誌, **55(4)**: 91-98, 1993.
 24. 冗長自由度を有するマニピュレータの制御方法. 近藤 直・門田充司・藤浦建史・芝野保徳・毛利建太郎, 植物工場学会誌, **9(1)**: 44-53, 1993.
 25. ラジコンヘリコプターのダウンウォッシュ. 中尾清治・藤浦建史・吉田忠彦・沖野弘輝・岡田伸一, 農業機械学会関西支部報, **74**: 13-14, 1993.
 26. Agricultural robots (1). Vision sensing system. FUJIURA, T., J. YAMASITA and N. KONDO, ASAE Paper, **923517**: 1-7, 1992.
 27. Ditto (2). Manipulators and fruits harvesting hands. KONDO, N., M. MONTA, Y. SHIBANO, K. MOHRI, J. YAMASHITA and T. FUJIURA, Ibid., **923518**: 1-7, 1992.
 28. Ditto (3). Grape berry thinning hand. MONTA, M., N. KONDO, Y. SHIBANO, K. MOHRI, J. YAMASHITA and T. FUJIURA, Ibid., **923518**: 1-10, 1992.
 29. Ditto (4). Automatic guided vehicle for green houses. YAMASHITA, J., K. SATO, T. FUJIURA, N. KONDO and T. IMOTO, Ibid., **923544**: 1-13, 1992.
 30. Ditto (5). Six-wheel drive tractor for orchards. YAMASHITA, J., K. SATO, T. FUJIURA, N. KONDO and T. IMOTO, Ibid., **921518**: 1-12, 1992.
 31. Request to cultivation method from tomato harvesting robot. KONDO, N., Y. SHIBANO, K. MOHRI, T. FUJIURA and M. MONTA, Acta Horticulturæ, **319**: 567-572, 1992.
 32. 野菜用はん用ロボットの研究 (1) -セル成形苗の移植- 藤浦建史・中尾清治・土肥 誠・高 衛民・高嶋憲彰・渡辺一徳, 農業機械学会関西支部報, **74**: 57-58, 1993.
 33. 野菜用はん用ロボットの研究 (2) -株間除草- 藤浦建史・中尾清治・土肥 誠・高 衛民・上村高弘・斎藤公誉, 同, **74**: 59-60, 1993.
 34. 野菜用はん用ロボットの研究 (3) -軟弱野菜の収穫- 藤浦建史・中尾清治・土肥 誠・I DEWA MADE SUBRATA・渡辺一徳・高嶋憲彰, 同, **74**: 61-62, 1993.
 35. 野菜用はん用ロボットの研究 (4) -トマトのホルモン剤処理- 藤浦建史・中尾清治・土肥 誠・I DEWA MADE SUBRATA・斎藤公誉・上村高弘, 同, **74**: 63-64, 1993.
 36. 乗用田植機の走行制御に関する研究 (第1報). 野波和好・小松 實・樋口英夫・中尾清治・足立憲一, 農機誌, **55(4)**: 107-114, 1993.
 37. 堆肥埋込作業機の試作 (1) -バーク堆肥による埋込性能実験- 中尾清治・藤浦建史・渡部高広・林祐一, 農業機械学会関西支部報, **74**: 89-90, 1993.
 38. 堆肥埋込作業機の試作 (2) -ショベルすき込み性能実験- 中尾清治・藤浦建史・林 祐一・渡部高広, 同, **74**: 91-92, 1993.
 39. 若者の定住意識に関する研究-島根県過疎地域の場合- 渡部晴基・藤岡光夫・大森賢一, 山陰地域研究 (農山村), **9**: 69-86, 1993.
 40. 中国山地における農業の「担い手」の動向: 広島県を中心とした統計的分析. 大森賢一, 同, **9**: 49-68, 1993.
- 〔学会発表等〕
1. 水稲作経営の将来展望(シンポジウム・米). 浜田年騏, 日本学術会議農業機械学会研究連絡委員会, pp. 25-42, 1992.
 2. 農業・農村における情報ネットワークとコンピュータリテラシー -パソコン通信ホスト実験局の体験より- 竹山光一, 農業土木学会中国四国支部講演会講演要旨, pp. 178-180, 1992.
 3. 農山村居住者の景観意識分析と景観整備の方向性, 伊藤勝久・大森賢一・藤居良夫, 日本林学会大会要旨集, p. 58, 1993.
 4. 間伐・小径材製品のマーケティングの課題, 伊藤勝久, 同, p. 58, 1993.
 5. 農山村地域における居住者の原風景意識の構造分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 第47回農土学会中国四国支部大会講演要旨集, pp. 98-100, 1992.
 6. 農山村地域における居住者の景観意識の構造分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 同, pp. 101-103, 1992.
 7. 中国山地における農業の「担い手」の動向: 広島県を中心とした統計的観察. 大森賢一, 中四国商経学会第33回大会報告要旨, pp. 12-13, 1992.

〔その他〕

1. 高畦－苜蓿農法の現代的意義(平田市教育委員会編「日新富有 事典歴史講座集録集」所収). 浜田年騏, 平田市教育委員会, 平田, pp. 150-170, 1992.
2. 山陰のくらし－高度成長の前と後(37),(38),(39)－ 浜田年騏, 山陰中央新報, 8月12日号, 14; 8月19日号, 14; 9月2日号, 14, 1992.
3. 新政策時代の農業・農村の振興とJAグループの役割(5),(6),(7),(8),(9). 浜田年騏, 日本農業新聞, 2月11日号, 7; 2月18日号, 7; 2月25日号, 7; 3月4日号, 7; 3月11日号, 7, 1993.
4. 活性化のための人づくり, 組織づくり, 体制づくりの諸方策(全国農業構造改善協会編「島根県宍道町における農業農村活性化推進事業について」所収). 浜田年騏, 全国農業構造改善協会, 東京, pp. 15-26, 1992.
5. 農業生産の振興と集出荷・加工・研修施設の整備(同編「同」所収), 浜田年騏, 同, pp. 27-39, 1992.
6. 新政策時代の農業・農村の振興とJA業グループの役割, 平塚貴彦・浜田年騏, JA島根中央会, 松江, pp. 1-74, 1992.
7. 地域農業の活性化をめざす赤梨生産団地, 浜田年騏, 農業構造改善, 1993年7月号, 4-10, 1993.
8. 雲南地域林野活用畜産基盤整備調査報告書, 浜田年騏ほか, 中国四国農政局生産流通部畜産課, 岡山, 401 pp., 1993.
9. 過疎山村の林業生産と環境対策に関する研究. 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 平成3年度科学研究補助金(一般B)研究成果報告書, 57 pp. 1993.
10. 国土保全維持管理(岩谷三四郎代表「中山間地域振興調査報告」所収). 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 中山間地域振興調査研究会, 広島, pp. 10-28, 1993.
11. 広域農林地総合開発整備調査報告書－備北西部地域(広島県)－ 伊藤勝久ほか, 日本土壌協会, 東京, 237 pp., 1993.
12. 第I章 仁多町の農業農村の現状(全国農業構造改善協会編「島根県仁多町における需要創造型農業推進農業構造改善事業について」所収). 伊藤勝久, 全国農業構造改善協会, 東京, pp. 1-20, 1993.
13. 中国地方国産林の供給見通しと流通. 伊藤勝久, 木材情報, 21: 16-19, 1993.
14. 第I章 広島県における農業の「担い手」の動向(広島県農業協同中央会編「土地利用型農業の担い手と新たな展望」所収). 大森賢一, 広島県農業協同中央会, 広島, pp. 12-31, 1993.
15. 第2部 A コープ利用者の消費者特性とニーズ(島根県農協地域開発振興センター編「調査・研究・開発に関する報告書」所収). 大森賢一, 島根県農協地域開発振興センター, 松江, pp. 37-72, 1993

農村工学

Rural Engineering

武田 育郎 ・ 福 島 晟
 Ikuo TAKEDA Akira FUKUSHIMA
 森 也寸志 ・ 今 尾 昭 夫
 Yasushi MORI Akio IMAO
 福 桜 盛 一 ・ 木 原 康 孝
 Shigekazu FUKUSAKURA Yasutaka KIHARA
 鳥 山 眺 司 ・ 野 中 資 博
 Koushi TORIYAMA Tsuguhiro NONAKA
 藤 居 良 夫
 Yoshio FUJII

〔論 文〕

1. 分布型流域モデルを組込んだ流出解析法の検討. 福島 晟, 島根大農研報, **26**: 45-53, 1992.
 2. 土地利用による土壌間隙構造の差異—軟X線による観察を中心にして—森也寸志・志賀摂子・岩間憲治・渡辺紹裕・丸山利輔, 土壌の物理性, **66**: 19-27, 1992.
 3. 締固めた凝灰岩の特異な透水性について. 鳥山眺司, 島根大農研報, **26**: 55-60, 1992.
 4. 締固めた凝灰岩の圧密特性について. 鳥山眺司, 同, **26**: 61-66, 1992.
 5. Microbial jarosite and gypsum from corrosion of portland cement concrete. TAZAKI, K., T. MORI and T. NONAKA, *Can. Mineral.*, **30**: 431-444, 1992.
 6. 硫酸腐食を受けたモルタルの生成物分析. 野中資博・野田修司・浦上良樹・森忠洋, 農土論集, **161**: 25-30, 1992.
 7. Significance of iron layer as an indicator to determine the microbial corrosion of concrete. NONAKA, T., N. ISMAIL, K. TAZAKI, and T. MORI, *土木論集*, **474/VI-20**: 125-131, 1993.
 8. Effect of carbonation on microbial corrosion of concrete. ISMAIL, N., T. NONAKA, S. NODA, and T. MORI, *Ibid.*, **474/VI-20**: 133-138, 1993.
 9. 農村景観選好の基礎構造 —評価因子の析出— 大森賢一・藤居良夫・伊藤勝久, 島根大農研報, **26**: 27-32, 1992.
 10. 農山村の持続的開発と景観整備との調和に関する覚書. 伊藤勝久・大森賢一・藤居良夫, 同, **26**: 21-26, 1992.
 11. 地域計画のための住民意識による生活環境評価の分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 山陰地域研究(農山村), **9**: 97-106, 1993.
 12. 農山村地域における居住者の景観およびふるさと意識の統計的分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 農土論集, **164**: 21-32, 1993.
- 〔学会発表等〕
1. 農業集水域からの汚濁物質流出特性—水質項目の統計的考察— 武田育郎・國松孝男・小林慎太郎・丸山利輔, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 106-107, 1992.
 2. 循環灌漑を伴う水田流域の水質浄化機能の評価. 武田育郎・福島 晟, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 384-385, 1993.
 3. 分布型流域モデルを組込んだ流出解析法の検討. 福島 晟, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 190-192, 1992.
 4. 分布型流域モデルと雨水流出シミュレーション. 福島 晟, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 268-269, 1993.
 5. 長短期流出両用モデルと雨水流モデルを統合した流出モデルの検討. 福島 晟・武田育郎・森也寸志, 水文水資源学会1993年研究発表会要旨集, pp. 250-251, 1993
 6. Runoff model combined kinematic wave runoff model with storage model for analyzing flood and long term runoff. FUKUSHIMA, A., IAHS Fourth Scientific General Assembly Jointly with IAMAP, IAHS Workshops (HW1) (Yokohama), 1993.
 7. 水稻根遺体が透水性に及ぼす影響について—軟X線を用いた観察— 森也寸志・渡辺紹裕・丸山利輔・岩間憲治・志賀摂子, 平4農土学会大会講演要旨, pp. 166-167, 1992.
 8. 水田土壌における間隙の形成と形態に関する研究—土壌中の水・物質移動に関する基礎的研究— 森也寸志・渡辺紹裕・丸山利輔, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 18-19, 1993.
 9. 不飽和土壌中における水分・塩分の移動に関する研究—地下水水位が異なる場合の下層からの毛管上昇について— 増山 晃・福桜盛一・今尾昭夫・木原康孝, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 136-137,

- 1992.
10. 造成農地における水分動態と下層補給（Ⅲ）－トネル・マルチ内側と外側における調査事例－ 矢部勝彦・谷川寅彦・福桜盛一・木原康孝, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 166-167, 1993.
 11. 水分・塩分の移動に対する礫層による毛管切断の影響について. 木原康孝・大槻恭一・靱井和朗, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 133-135, 1992.
 12. レキ層のある土壌中における水分・塩分・熱の移動. 木原康孝・大槻恭一・靱井和朗, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 16-17, 1993.
 13. 締固めた凝灰岩の透水性について（Ⅱ）. 鳥山暁司, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 216-218, 1992.
 14. 締固めた砂礫材の剪断特性のひずみ依存性について. 鳥山暁司, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 608-609, 1993.
 15. コンクリートの微生物腐食について－防食設計に対する提案－ 野中資博・森 忠洋, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 225-227, 1992.
 16. 汚水処理施設におけるコンクリート微生物腐食の腐食指標の分析. 野中資博, 平5農土学会大会講演要旨, pp. 356-357, 1993.
 17. 農山村地域における居住者の景観意識の構造分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 47回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 101-103, 1992.
 18. 農山村地域における居住者の原風景意識の構造分析. 藤居良夫・伊藤勝久・大森賢一, 同, pp. 98-100, 1992.
 19. レキ層のある土壌中における水分・塩分の移動. 木原康孝・大槻恭一・靱井和朗, 鳥取大学乾燥地研究センター共同研究会発表講演要旨集, pp. 8-9, 1992.
- 平成4年度報告書」所収). 同, 木原康孝, pp. 9-30, 1993.
5. コンクリート微生物腐食の機構と対策－コンクリート構造物の防食と補修の考えかた－(地下埋設コンクリート構造物の耐久性向上に関する研究分科会編「地下埋設コンクリート構造物の耐久性向上に関する研究報告」所収). 九州橋梁・構造工学研究会, 福岡, 野中資博, pp. 13-20, 1993.

〔その他〕

1. 網場川流域の水質・水文特性について(農業学会編「斐伊川下流地域農業農村整備調査委員会報告書」所収). 農業土木学会, 東京, 武田育郎, pp. 33-47, 1993.
2. 土壌中の水分動態に関するシミュレーション(畑地農業振興会編「丹後地区農地造成保全等調査委員会平成4年報告書」所収). 畑地農業振興会, 東京, 福桜盛一・木原康孝, pp. 70-84, 1993.
3. 用水利用の変動とファームポンド貯水量(同編「東伯農業水利事業末端かんがい施設計画等検討委員会

生物資源科学科 Department of Natural Resources

生物材料工学

Materials Science and Technology of Natural Products

高橋 徹・城代 進
Akira TAKAHASHI Susumu JOHDAI
田中千秋・古野 毅
Chiaki TANAKA Takeshi FURUNO
中尾哲也・上原 徹
Tetsuya NAKAO Tohru UEHARA

〔著書〕

1. 第2章第5節 WPC化；第2章第9節 プラズマ処理；第3章第6節 防腐・防虫処理（鈴木正治・徳田迪夫編「木材科学講座8 木質資源材料」所収）。古野 毅・上原 徹，海青社，大津，pp. 39-50；66-71；107-114，1993.
2. 木材の性質と加工（山下晃功ら編「技術研究選書」所収）。古野 毅，開隆堂，東京，pp. 17-48，1993.

〔論文〕

1. 水分傾斜をもつ木材梁の両端自由たわみ振動（第3報）。西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹，木材学会誌，**38**：1063-1065，1992.
2. An automatic control of the feed-rate of a band-saw for woodworking. TANAKA, C., C. ZHAO, T. NAKAO, Y. NISHINO and A. TAKAHASHI, *Mokuzai Gakkaishi*, **38**：1172-1174，1992.
3. Japanese live longer in wooden houses. NAKAO, T., C. TANAKA and A. TAKAHASHI, *Bull. Fac. Agr. Shimane Univ.*, **26**：67-70，1992.
4. 防腐処理木材が生体に及ぼす影響。西野吉彦・梅林寺幹和・谷川 充・高橋 徹・中尾哲也・田中千秋，*島大農研報*，**26**：91-95，1992.
5. 木工用帯鋸の最適化適応制御に関する研究（第3報）。趙 春瑞・田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹・池田茂人，*木材学会誌*，**39**：138-143，1993.
6. Distribution of mineral elements in the stems of sound and wilt-diseased trees of akamatsu

(*Pinus densiflora*). FURUNO, T., T. UEHARA and S. JODAI, *Mokuzai Gakkaishi*, **39**：48-57，1993.

7. Improvement of the durability of wood with acryl-high-polymer V. Adsorption of hydrophilic acrylic polymer onto wood swollen with acetone. FUJIMURA, T., M. INOUE, T. FURUNO, Y. IMAMURA and S. JODAI, *Ibid.*, **39**：315-321，1993.
8. 針葉精油中のテルペン類の化学組成における樹木個体内の変動。加藤定信・上原 徹・古野 毅・城代進，*木材学会誌*，**39**：322-327，1993.
9. Combinations of wood and silicate III. Some properties of wood-mineral composites using the water glass-boron compound system. FURUNO, T., T. UEHARA and S. JODAI, *Mokuzai Gakkaishi*, **39**：561-570，1993.
10. Improvement of the durability of wood with acryl-high-polymer VI. Polymer adsorption on piezoelectric quartz crystal coated with carboxymethyl cellulose. FUJIMURA, T., T. FURUNO, Y. IMAMURA and S. JODAI, *Ibid.*, **39**：658-666，1993.
11. Effect of corona discharge treatment on beech wood meal. UEHARA, T., H. NISHIMURA, T. FURUNO, S. JODAI and I. SAKATA, *Ibid.*, **39**：729-733，1993.
12. Improvement of the durability of wood with acryl-high-polymer VII. Biological resistance of acrylic-copolymer treated wood. FUJIMURA, T., J. Y. RYU, Y. IMAMURA, T. FURUNO and S. JODAI, *Ibid.*, **39**：1042-1048，1993.
13. エチレンによるヒノキ(*Chamaecypris obtusa*) 幼苗から放散されるテルペン類の化学組成の変化。加藤定信・上原 徹・古野 毅・城代 進，*木材学会誌*，**39**：1084-1088，1993.
14. 難注入性木材の液体浸透(I)。毛管圧浸透と加圧注入における5樹種の方向別浸透性。谷川 充・古野 毅・城代 進，*木材保存*，**18**：260-269，1992.
15. 形成されつつある珪化木—富山県立山温泉「新湯」における珪化木生成の一例— 赤羽久忠・古野 毅，*地質学会雑誌*，**99**：457-466，1993.

〔学会発表等〕

1. 小型簡易音響室による木質材料の透過損失に関する研究。姜 日順・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・

- 高橋 徹, 第43回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 57, 1993.
2. 2×4工法における床衝撃音の低減. 鈴木茂久・中尾哲也・高橋 徹・泉 潤一, 同, p. 61, 1993.
 3. 木造住宅およびRC造住宅における音環境の相違について. 西 正敏・牧平経生・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 62, 1993.
 4. ベネフィット構造分析法による住宅の住み心地の調査研究. 岩切祥子・中尾哲也・高橋 徹・西野吉彦・田中千秋, 同, p. 68, 1993.
 5. レビンソン理論による木材の振動解析. 中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 244, 1993.
 6. CCA処理燃焼ガスがマウスに与える影響. 梅林寺幹和・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 258, 1993.
 7. 断面内不均質ボードの動的性質に関する研究. 董玉庫・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 419, 1993.
 8. 針葉テルペン類の放散量に及ぼすエチレンの影響. 加藤定信・上原 徹・古野 毅・城代 進, 日本木材学会中国・四国支部第5回研究発表会要旨集, pp. 64-65, 1993.
 9. 紫外線照射による木材表面の微細構造の変化. 朴乗守・古野 毅・上原 徹・城代 進, 第43回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 39, 1993.
 10. WPC中のポリマーの分子量および分子量分布. 高橋宜之・上原 徹・城代 進・古野 毅, 同, p. 192, 1993.
 11. 変性カルボキシメチルセルロースの熱特性. 松井善之・上原 徹・城代 進・古野 毅, 同, p. 284, 1993.

生物資源化学講座

Bioresource Chemistry

滝波 弘一・松井 佳久
Koichi TAKINAMI Yoshihisa MATSUI
持田 和男・若月 利之
Kazuo MOCHIDA Toshiyuki WAKATSUKI
尾添 嘉久・横田 一成
Yoshihisa OZOE Kazushige YOKOTA
地 阪 光 生
Mitsuo JISAKA

〔著書〕

1. 3D QSAR of insecticidal dioxatricycloalkene and its related compounds. In WERMUTH, C. G. (ed.), *Trends in QSAR and Molecular Modelling 92*. AKAMATSU, M., T. FUJITA, Y. OZOE, K. MOCHIDA, T. NAKAMURA and F. MATSUMURA, ESCOM, Leiden, pp. 525-526, 1993.

〔論文〕

1. Effect of the addition of activated charcoal to the nutrient solution on the growth of tomato in hydroponic culture. YU, J. Q., K. S. LEE and Y. MATSUI, *Soil Sci. Plant Nutr.*, **39**:13-22, 1993.
2. *p*-thiocyanatophenol as a novel allelochemical in exudates from the root of cucumber. YU, J. Q. and Y. MATSUI, *Chem. Express*, **8**: 577-580, 1993.
3. ¹H NMR response of mono[6-(1-pyridinio)-6-deoxy]- α -cyclodextrin to inorganic anions. MU, P., T. OKADA, N. IWAMI and Y. MATSUI, *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **66**:1924-1928, 1993.
4. A base-catalyzed H/D exchange reaction in the 6-(1-pyridinio)-6-deoxy derivatives of cyclodextrin. MU, P., M. FUJIE and Y. MATSUI, *Ibid.*, **66**: 2084-2087, 1993.
5. Purification of extracellular aryl acylamidase from a coryneform bacterium, strain A-1. MOCHIDA, K., T. NAKAMURA, W. X. LI and Y. OZOE, *J. Pesticide Sci.*, **18**:211-216, 1993.
6. Multiple regression method for estimating rates of weathering and soil formation in watersheds. WAKATSUKI, T., A. RASYIDIN and T. NAGANAWA, *Soil Sci. Plant Nutr.*, **39**: 153-159, 1993.

7. High performance and N & P-removable on-site domestic waste water treatment system by multi-soil-layering method. WAKATSUKI, T., H, ESUMI and S. OMURA, Wat. Sci. Tech., **27**: 31-40, 1993.
 8. 縄文時代の人口密度分布と土壌の肥沃度. 若月利之, 三輪叡太郎, 筑波大学先史学考古学研究, **4**: 31-43, 1993.
 9. Interaction of 3-alkyl-4-*n*-propylbicyclophosphorothionates with GABA-gated chloride channels in brains of rats and grunts. OZOE, Y., K. MOCHIDA, T. NAKAMURA, T. HOSAKA and M. ETO, J. Pesticide Sci., **17**: 275-277, 1992.
 10. Potency of isomers of 8-isopropyl-6-oxabicyclo-[3.2.1]octan-7-one at the picrotoxinin binding site in the GABA-gated chloride channel in rat brain. OZOE, Y., E. KUWANO and M. ETO, Biosci. Biotech. Biochem., **57**: 504-505, 1993.
 11. アラキドン酸カスケードとその周辺. 横田一成, 農業誌, **17**: S297-S305, 1992.
 12. Antitumoral and antimicrobial activities of bitter sesquiterpene lactones of *Vernonia amygdalina*, a possible medicinal plant used by wild chimpanzees. JISAKA, M., H. OHIGASHI, K. TAKEGAWA, M. A. HUFFMAN and K. KOSHIMIZU, Biosci. Biotech. Biochem., **57**: 833-834, 1993.
 13. Steroid glucosides from *Vernonia amygdalina*, a possible chimpanzee medicinal plant. JISAKA, M., H. OHIGASHI, K. TAKEGAWA, M. HIROTA, R. IRIE, M. A. HUFFMAN and K. KOSHIMIZU, Phytochemistry, **34**: 409-413, 1993.
- 〔学会発表等〕
1. ビリジニオ修飾シクロデキストリンと無機陰イオンとの相互作用. 穆平・岡田卓弥・岩見央将・松井佳久, 第11回シクロデキストリンシンポジウム講演要旨集, pp. 87-88. 1992.
 2. シクロデキストリンのビリジニオ誘導体における水素/重水素交換反応. 穆平・松井佳久, 日本化学会第65春季年会講演予稿集II, p. 459, 1993.
 3. シクロデキストリン類の¹H NMRに及ぼす無機陰イオン添加の影響. 松井佳久・穆平・小野正治, 第12回シクロデキストリンシンポジウム講演要旨集, pp. 129-130, 1993.
 4. 薬剤の分離クチクラ膜(無気孔)透過性に及ぼす界面活性剤の影響. 加古隆太郎・持田和男・尾添嘉久・中村利家・松本進・重松太郎, 日本農業学会第18回大会講演要旨集, p. 146, 1993.
 5. 西アフリカの水田. 若月利之, 農業土木学会シンポジウム, 世界の水田の現状と発展方向, pp. 54-61, 1992.
 6. 新しい時代に適した人と土との循環システムの再構築. 若月利之, 環境科学, **6**: 168-169, 1992.
 7. Characterization of precipitation and river water chemistry for measuring the rates of weathering and soil formation in small watersheds. RASYIDIN, A. and T. WAKATSUKI, 日本土壤肥料学会講演要旨集, **39**: 139, 1993.
 8. Soil properties of some inland valley swamps of the four major climatic zones of west Africa. ISSAKA, R. N. and T. WAKATSUKI, 同, **39**: 139, 1993.
 9. 熱帯アフリカ内陸小低地集水域の土壌と持続的農業開発. 若月利之, 同, **39**: 146, 1993.
 10. 多段土壌層法による生活排水処理装置のこれまでの実施例. 小村修一・喜田賢・若月利之, 同, **39**: 173, 1993.
 11. 活性炭積層多段土壌層による排水中のテトラクロロエチレンと農薬成分の除去法. 若月利之・福田俊治・山本広基・中村利家, 日本水環境学会年会講演集, **27**: 216-217, 1993.
 12. 多段土壌層法による各種排水の高度処理実施例. 小村修一・若月利之・喜田賢・林秀樹, 同, **27**: 222-223, 1993.
 13. 多段土壌層法による脱窒, 脱リン合併排水処理装置(実証試験その3). 江角比出郎・小村修一・喜田賢・若月利之, 同, **27**: 404-405, 1993.
 14. 熱帯アフリカの土壌と持続可能な集約的農林業システム. 若月利之, 日本アフリカ学会学術大会研究発表要旨, **30**: 40, 1993.
 15. 熱帯の土と人. 若月利之, 第3回日本熱帯生態学会年次大会研究発表の記録, **3**: 7, 1993.
 16. ハスモンヨトウ幼虫頭部のオクトパミンレセプターの薬理学的性質. 尾添嘉久・佐藤正志・持田和男・中村利家, 日本農業学会第18回大会講演要旨集, p. 54, 1993.
 17. Three-dimensional QSAR of insecticidal dioxatricycloalkene and its related compounds.

- AKAMATSU, M., T. FUJITA, Y. OZOE, K. MOCHIDA, T. NAKAMURA and F. MATSUMURA, Abstracts of the 9th European Symposium on Structure-Activity Relationships: QSAR and Molecular Modelling (Strasbourg), p. 110, 1992.
18. Three-dimensional QSAR of compounds which block GABA receptors non-competitively. AKAMATSU, M., T. UENO, T. FUJITA, Y. OZOE, K. MOCHIDA, T. NAKAMURA and F. MATSUMURA, The 1993 Gordon Research Conference on Quantitative Structure-Activity Relationships (Tilton), 1993.
 19. Probing GABA-gated chloride channels with synthetic noncompetitive antagonists, OZOE, Y., M. AKAMATSU, K. MOCHIDA, T. NAKAMURA, T. UENO, T. FUJITA and F. MATSUMURA, Proceedings of the 3rd China-Japan Drug Design and Development Symposium (Beijing), pp. 35-42, 1993.
 20. ジャガイモ塊茎リボキシゲナーゼアイソザイムの分離と性質及び遺伝子クローニングに関する研究. 横田一成・依田彰晃・高田 功・地阪光生・滝波弘一, 脂質生化学研究, **35**, 411-414, 1993.
 21. Madin-Darbyイヌ腎臓細胞株での n-6 と n-3 系列の必須脂肪酸バランスと細胞内相互作用. 横田一成・森嶋 徹・瓜迫由紀子・地阪光生・滝波弘一, 生化学, **65**:983, 1993.
 22. Madin-Darbyイヌ腎臓上皮性細胞株でのホスホリパーゼDの活性化機構. 横田一成・竹内純一・地阪光生・滝波弘一, 平成5年度日本農芸化学会関西・西日本支部合同大会(西日本支部第220回講演会)講演要旨集, p. 72, 1993.
- 1993.
4. 多段土壌層法による排水処理装置の作り方. 若月利之, 養豚の友, 1993年8月号, 50-55, 1993.
 5. Magou 村実証圃場現地調査報告(農用地整備公団編「砂漠化防止対策実証調査報告」所収). 農用地整備公団, 東京, 若月利之, pp. 217-237, 1993.
 6. 斐伊中山2号墳第IV主体床土(粘土床)の土壌分析結果報告書(木次町教育委員会編「斐伊中山古墳群一西支群」所収). 木次町教育委員会, 木次, 若月利之・増水二之, pp. 44-46, 1993.
 7. 必須脂肪酸バランスによるアラキドン酸カスケード反応の栄養制御と動物細胞機能の調節. 横田一成・地阪光生・滝波弘一, 財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所平成4年度学術助成金研究成果報告書, 190 pp. 1993.
 8. 生体食品中のリボキシゲナーゼ関連化合物の生合成系と代謝産物の役割に関する研究. 横田一成・滝波弘一, 財団法人飯島記念食品科学振興財団平成3年度学術研究助成成果報告書, 332 pp. 1993.

〔その他〕

1. 第11回シクロテキストリンシンポジウムの概要. 松井佳久, 中四国先進技術情報, **1**: 128-130, 1993.
2. Development of present-day adoptive recycling systems between man and soil. WAKATSUKI, T., "Man-Environment System" Res. Rep., **1990-1992**: 274-277, 1993.
3. 新しい時代に適した人と土と循環システムの構築に関する研究(曾我直弘代表「人為起源物質の環境中の循環と制御」所収). 若月利之, 平成4年度科学研費補助金(重点領域)成果報告書, pp. 141-142,

応用生物機能学

Applied Biological Science

落合 英夫 ・ 柴田 均
 Hideo OCHIAI Hitoshi SHIBATA
 澤 嘉弘 ・ 松田 英幸
 Yoshihiro SAWA Hideyuki MATSUDA
 川 向 誠 ・ 森 忠洋
 Makoto KAWAMUKAI Tadahiro MORI
 秋 葉 道宏 ・ 春本 直
 Michihiro AKIBA Tadashi HARUMOTO
 藤 原 勉
 Tsutomu FUJIHARA

〔著 書〕

1. Function analysis of cyanobacterial plasmids: pPF1 (*Phormidium foveolarum*) and pMA1 (*Microcystis aeruginosa*). In MURATA, N. (ed.), *Research in Photosynthesis Vol. 3*. TOMINAGA, H., Y. HAYASHIDA, H. ASHIDA, Y. SAWA and H. OCHIAI, Kluwer Acad. Pub. Netherlands, pp. 307-310, 1992.
2. Shock protein synthesis by near-UV irradiation in *Anacystis nidulans* R-2. *Ibid. vol. 4*. SHIBATA, H. and K. BABA, Ditto, pp. 553-556, 1992.
3. Import of the nuclear-coded cytochrome *c* oxidase subunit into plant mitochondria. *Ibid.*, vol. 3. NAKAGAWA, T., K. KATASHIBA, M. KAWAMUKAI, H. OCHIAI and H. MATSUDA, Ditto, pp. 157-160, 1992.
4. RAS function and protein kinase cascade. In MARSH, J. and J. GOODE, (eds.), *The GTPase Superfamily*. MARCUS, S., M. WIGLER, H-P XU, R. BALLESTER, M. KAWAMUKAI and A. POLVERINO, John Wiley & Sons, Chichester, etc., pp. 53-66, 1993.
5. 放線菌による活性汚泥異常発泡のメカニズム—エアレーションタンク内の放線菌と細胞壁中のミコール酸—(土木学会衛生工学委員会編「環境微生物工学研究法」所収). 森 忠洋, 技報堂出版, 東京, pp. 55-58, 1992.
6. 藻類の凝集処理—走査型電子顕微鏡による写真撮影とエネルギー分散分析による凝集フロックの特性評価—(同). 秋葉道宏, 同, pp. 217-220, 1993.

〔論 文〕

7. アンモニア処理ほか35用語(野附 巖監修「最新・酪農用語解説」所収). 藤原 勉, デーリー・ジャパン, 東京, pp. 12-210, 1993.
1. Continuous chitosan hydrolyzate production by immobilized chitosanolytic enzyme from *Enterobacter* sp. G-1. YAMASAKI, Y., I. FUKUMOTO, N. KUMAGAI, Y. OHTA, T., NAKAGAWA, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, *Biosci. Biotech. Biochem.*, **56**: 1546-1551, 1992.
2. Purification and mode of action of chitosanolytic enzyme from *Enterobacter* sp. G-1. YAMASAKI, Y., I. HAYASHI, Y. OHTA, T. NAKAGAWA, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, *Ibid.*, **57**: 444-449, 1993.
3. 生物工学・生態工学と環境浄化, エコポリスの創出. 森 忠洋, 農業土木学会誌, **60**: 837-842, 1992.
4. Complete decomposition of organic matter in high BOD wastewater by thermophilic oxic process. LIU B. G., NODA, S. and T. MORI, *Proc. Environ. Eng. Res.*, **29**: 77-84, 1992.
5. イオウ酸化細菌—中空糸膜バイオフィルターによる溶在硫化物の除去. 梁 在・大菅健一・平佐興彦・森 忠洋, 日本水処理生物学会誌, **28**: 1-6, 1992.
6. 嫌気性汚泥におけるプロピオン酸の酸化におよぼす硫酸鉛負荷の影響. 徐 正仁・福井 学・山岸岸夫・漆川芳國・森 忠洋, 環境科学会誌, **6**: 239-249, 1993.
7. Characteristics of microflora on corroded concrete sewer pipe. CHO K. S., T. MORI and J. KOIZUMI, *Jpn. J. Water Treat. Biol.*, **29**: 1-10, 1993.
8. 生活環境由来の硫酸鉛とその動態. 森 忠洋・趙敬淑・地球科学, **47**: 271-278, 1993.
9. Significance of iron layer as an indicator to determine the microbial corrosion of concrete. NONAKA, T., N. ISMAIL, K. TAZAKI and T. MORI, *J. Const. Mang. Eng.*, **474**: 125-131, 1993.
10. Effect of carbonation on microbial corrosion of concretes. ISMAIL N., T. NONAKA, S. NODA and T. MORI, *Ibid.*, **474**: 133-138, 1993.
11. ホルスタイン種若齢去勢牛の肥育前期における人工草地放牧について. 春本 直・藤原 勉・宇津田嘉

- 弘・加藤正信. 島根大農研報, **26**:71-35. 1992.
12. Study on the utilization of rice straw by sheep. I. The effect of soybean meal supplementation on the voluntary intake of rice straw and ruminal fermentation. WARLY, L., T. MATSUI, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, AA J. Anim. Sci., **5**: 687-693. 1992.
 13. Ditto. II. The effect of soybean meal supplementation on the eating and rumination behavior. WARLY, L., T. MATSUI, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, AA J. Anim. Sci., **5**: 695-698, 1992.
 14. The feed value of ensiled corn in sheep. FUJIHARA, T., K. NAKAMURA and T. HARUMOTO, Bull. Fac. Agr. Shimane Univ., **26**: 77-82. 1992.
 15. めん羊におけるマグネシウム恒常性維持と骨代謝の関係. 松井 徹・細井栄嗣・矢野秀雄・春本 直. JJSMgR. **12**: 1-3. 1993.
- 〔学会発表等〕
1. 葉緑体内リボース-5-リン酸キナーゼの精製と性質. 柴田 均・秋好淳子・澤 嘉弘・落合英夫. Plant & Cell Physiol., **34** (Supplement), S78. 1993.
 2. ラン藻アミノ酸代謝系酵素の相同性解析. 澤 嘉弘・中岡正樹・光吉久美子・芦田裕之・柴田 均・落合英夫. 農化, **67**: 340, 1993.
 3. シアノバクテリア (ラン藻) *Microcystis aeruginosa* のプラスミド. 富永宏志・副島 幹・神吉宏明・芦田裕之・澤 嘉弘・落合英夫. 同, **67**: 389, 1993.
 4. 糸状性ラン藻における重金属耐性遺伝子のクローニング. 芦田裕之・湊 裕志・中川 強・澤 嘉弘・落合英夫. 同, **67**: 391, 1993.
 5. Induction of hydrogen peroxide decomposing activity by UV-B irradiation. SHIBATA, H. and Y. HONDA, XI Int. Cong. Photobiol., Progr. Abstr. (Kyoto), p. 301, 1993
 6. 大腸菌の*p*-hydroxybenzoate polyprenylpyrophosphate transferase をコードする *ubiA* 遺伝子の構造解析. 鈴木謙吾・植田 稔・湯浅美穂子・中川強・川向 誠・松田英幸, 日本農芸化学会関西支部大会及びシンポジウム講演要旨集, p. 31, 1992.
 7. チトクロームオキシダーゼ核コードサブユニットの植物ミトコンドリアへの移行. 片芝謙一・川向 誠・松田英幸・芦田裕之・中川 強, 日本分子生物学会年会講演要旨集, p. 293, 1992.
 8. 大腸菌DNA結合タンパク質SFS1とマルトース代謝誘導. 秋元千百合・武田和彦・中川 強・川向誠, 同, p. 332, 1992.
 9. ヒトCAP (Cyclase Associated Protein) 遺伝子ホモログの単離. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, p. 341, 1992.
 10. *Cytophage* 菌のキトサナーゼの精製と性質. 落合伸久・山崎幸一・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・松田英幸, 日本生化学会誌, **64**: 1000, 1992.
 11. アラビドプシスのサイクロフィリン遺伝子の構造. 齊藤 武・川向 誠・松田英幸・芦田裕之・中川強, 農化, **67**: 254, 1993.
 12. 大腸菌のユビキノン合成に関する *ubiA*・C 遺伝子の発現制御機構. 鈴木謙吾・植田 稔・湯浅美穂子・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 382, 1993.
 13. 分裂酵母の有性生殖過程のシグナル伝達に関する *sam* 変異株の単離と性質. 片山 諭・高尾恒太・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 416, 1993.
 14. 分裂酵母の有性生殖過程に働く *mcs 24* 遺伝子と *cAMP* 系. 足立欣己・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 416, 1993.
 15. ヒトCAP (Cyclase Associated Protein) 遺伝子ホモログと細胞骨格形成. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, **67**: 416, 1993.
 16. *Cytophage* sp. 3001のキトサナーゼの作用機作とその誘導について. 落合伸久・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 504, 1993.
 17. *Enterobacter* sp. G-1 の生成するN-アセチルグルコサミニダーゼの精製と性質. 山崎幸一・諏訪邦宏・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・小村洋司・松田英幸, 第7回キチン・キトサンシンポジウム講演要旨集, p. 61, 1993.
 18. Cyclophilin/peptidyl-prolyl isomerase genes in arabidopsis (*Arabidopsis thaliana*). NAKAGAWA, T., T. SAITO, M. KAWAMUKAI, H. ASHIDA, H. OCHAI and H. MATSUDA, Abstr. XVth Int. Bot. Cong. (Yokohama), p. 519, 1993.
 19. Genes from metazoans encoding homologs of yeast adenylylcyclase associated proteins. KAWAMUKAI, M., K. O'NEILL, M. HOFMANN, H. C. SCHALLER, M. CHALFIE, J. FIELD and M. WIGLER. Meeting on Yeast Cell Biology in Cold Spring

- Harbor Laboratory (New York), p. 33, 1993.
20. Regulation of *ubiA* and *ubiC* genes expression; UbiA and UbiC are involved in ubiquinone biosynthesis. KAWAMUKAI, M., K. SUZUKI, M. UEDA, M. YUASA, T. NAKAGAWA and H. MATSUDA. *Ibid.*, p. 87, 1993.
 21. Stationary phase-specific expression of *fic* gene controlled by *rpoS* product (σ^{38}) in *Escherichia coli*. UTSUMI, R., S. KUSAFUNA, T. NAKAYAMA, K. TANAKA, Y. TAKAYANAGI, H. TAKAHASHI and M. KAWAMUKAI. *Ibid.*, p. 107, 1993
 22. 都市と農山村を結ぶ総合廃棄物処理・資源化システムの開発 (1) - 木質材を利用した高濃度有機排水の生物学的分解 - 森 忠洋・劉 宝鋼・山本 弘・野田修司, 廃棄物学会第 3 回研究発表会講演論文集, p. 79, 1992.
 23. 都市と農山村を結ぶ総合廃棄物処理・資源化システムの開発 (2) - 食堂からの有機廃棄物の完全生物酸化処理 - 山本 弘・角田裕介・森 忠洋・松岡晃範, 同, p. 83, 1992.
 24. 浮泥制御による汽水湖中海の浄化, 国際水環境技術開発シンポジウム, 秋葉道宏・高崎みつる・森 忠洋, pp. 376-381, 1992.
 25. 生態工学と環境浄化 (1) 方法論, 秋葉道宏・大菅健一・橋田隆史・森 忠洋, 日本水処理生物学会講演要旨集, p. 115, 1992.
 26. 都市と農山村を結ぶ総合廃棄物処理・資源化システムの構築 (3) - 下水汚泥の高品質コンポスト化 - 森 忠洋・蔡 恵良, 廃棄物学会第 4 回研究発表会講演論文集, p. 241, 1993.
 27. 高温・好気処理プロセスを用いた豚糞尿の生物学的完全処理. 劉 宝鋼・梁 在・趙 敬淑・森 忠洋, 同, p. 253, 1993.
 28. 高濃度有機廃水の高温好気処理における炭素と水分比の重要性. 梁 在・劉 宝鋼・趙 敬淑・森 忠洋・清水由起子, 同, p. 257, 1993.
 29. パイロットプラントを用いた食品工場残滓の高温・好気処理. 山本 弘・亀山 悟・森 忠洋・趙 敬淑, 同, p. 261, 1993.
 30. 木質細片を用いた高濃度有機排水の好温・好気処理 - 第 2 報焼酎廃液処理 - 山本 弘・角田裕介・亀山悟・森 忠洋, 第 27 回日本水環境学会年会講演集, p. 76, 1993.
 31. 外来細菌の生販性および被食圧とマイクロゾム構成微生物の代謝産物との関係. 田中伸幸・稲森悠平・須藤隆一・森 忠洋・川端善一郎, 同, p. 140, 1993.
 32. 好温好気法における biodemineralization. 本坊好正・田崎和江・野田修司・森 忠洋, 同, p. 346, 1993.
 33. プロピオン酸の嫌気性分解に果たす硫酸還元菌の役割. 徐 正仁・福井 学・山岸昂夫・漆川芳国・森 忠洋, 同, p. 382, 1993.
 34. PCR と 16S rDNA フラグメントパターンを利用した活性汚泥細菌の同定. 平石 明・森 忠洋, 同, p. 608, 1993.
 35. 生態工学を活用した湖の直接浄化 - 汽水湖・中海の浚渫跡地に集積した浮泥の性質と制御 - 秋葉道宏・橋田隆史・森 忠洋, 同, p. 608, 1993.
 36. 生態工学を活用した汽水湖・中海の直接浄化. 秋葉道宏・橋田隆史・森 忠洋, 第 30 回下水道研究発表会講演集, p. 130, 1993.
 37. 流入下水水質と障害微生物の増殖の関係 (5) 下水中の有機酸と放線菌 (*Nocardia amarae*) 増殖の関係. 古賀みな子・森 忠洋, 同, p. 329, 1993.
 38. 都市と農山村を結ぶ総合廃棄物処理・資源化システムの構築 (1) 小規模処理場汚泥の高品質コンポスト化と分解. 森 忠洋・蔡 恵良, 同, p. 862, 1993.
 39. Urinary excretion of purine derivatives and blood plasma level of allantoin in lambs fed a liquid diet without purine. FUJIHARA, T., T. MATSUI and T. HARUMOTO, Proc. 6th AAAP Anim. Sci. Congr. (Bangkok), p. 224, 1992.
 40. The effect of energy and protein supplementation on the voluntary intake of rice straw, ruminal fermentation and rumination behaviour in sheep. LILI WARLY, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, *Ibid.*, p. 243, 1992.
 41. Effect of soybean meal supplementation on reduction of rumen digesta particle size and rumination behaviour in sheep given rice straw as a basal diet. LILI WARLY, O. P. MAWUENYEGAH, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, Proc. VIIth WCAP (Edmonton), 2: 128-129, 1993.
 42. The effect of supply of purine base or purine nucleoside on the plasma and urinary purine derivatives in lambs fed milk replacer. FUJIHARA, T., T. MATSUI and T. HARUMOTO, *Ibid.*, pp. 145-146, 1993

43. Selenium studies in Japanese Corriedale sheep. I. Selenium balance. SERRA, A. B., K. NAKAMURA, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, *Ibid.*, pp. 172-173, 1993.
44. Selenium studies in Japanese Corriedale sheep. II. Selenium levels in various ruminal liquid fractions. SERRA, A. B., K. NAKAMURA, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, *Ibid.*, pp. 174-175, 1993.
45. Ruminant VFA production and total tract digestion of timothy hay in wethers as influenced by inorganic selenium sources. SERRA, A. B., K. NAKAMURA, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, *J. Anim. Sci.*, **71**: 263, 1993.
46. Mineral status of Philippine goats. SERRA, A. B., E. A. ORDEN, L. C. CRUZ, K. NAKAMURA, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, *Ibid.*, **71**: 293, 1993.
47. プリンヌクレオシドの第四胃内投与が尿中へのPD排泄量に及ぼす影響. 中村一孝・藤原 勉・X. B. CHEN・E. R. ØRSKOV, 日本畜産学会第87回大会講演要旨, p. 132, 1993.
48. メンヨウにおけるセレン酸ソーダと亜セレン酸ソーダの利用性について. SERRA, A. B., 中村一孝・松井 徹・春本 直・藤原 勉. 同, p. 137, 1993.
49. イネ科牧草とマメ科牧草の繊維の消化性の相違について. 岡本智志・春本 直・藤原 勉. 同, p. 141, 1993.
50. イネ科牧草の生育ステージの違いと細胞壁構成成分のルーメン内における分解性について. ARMINA FARIANI・LILI WARLY・藤原 勉・春本 直・松井 徹. 同, p. 144, 1993.
51. イナワラへの大豆粕補給がメンヨウの反芻行動とルーメン内容物の粒度変化に及ぼす影響. LILI WARLY・藤原 勉・春本 直・松井 徹. 同, p. 144, 1993.
52. 飼料の給与回数の相違がメンヨウの反芻行動に及ぼす影響. 春本 直・二岡孝之・藤原 勉・松井 徹. 同, p. 165, 1993.
53. メンヨウにおける肉の鮮度保持に対するナイアシン投与の効果について. 藤原 勉・松井 徹・春本直. 同, p. 171, 1993.
- 丸善株式会社, 東京, pp. 331-347, 1993.
- [その他]
1. 植物の生育に及ぼす近紫外線の作用(本田雄一代表「生物生産における光質環境の効率的利用に関する研究」所収). 柴田 均, 平成4年度特定研究費研究成果報告書, pp. 12-19, 1993.
 2. 好温性ラン藻 *Phormidium lapideum* によるグルタチオン生産の最適条件及び光質環境の検討(同). (同), 澤 嘉弘, pp. 20-25, 1993.
 3. Progress report of the JICA-UPM joint project on molecular biological studies of microorganisms. JICA. SAWA, Y., 1993.
 4. 日本海の海洋資源の新開発とその応用に関する生物工学的研究. 松田英幸, 環境とバイオ研究推進セミナー, pp. 2-5, 1992.
 5. バイオコントロールを目指した無公害生物農薬の開発研究. 松田英幸, 同, p. 1, 1992.
 6. キトサンオリゴ糖を利用した機能性食品について. 松田英幸, 微生物処理キトサン研究会, pp. 1-2, 1992.
 7. キトサンとそのバイオテクノロジー無農薬・有機肥料農業への応用. 松田英幸, 福島県菊田施設園芸研究会シンポジウム, pp. 1-8, 1993.
 8. Biotechnology of chitosan and its related enzymes. Part IV. MATSUDA, H., 第4回植物と微生物のバイオセミナー(神戸) pp. 1-46, 1993.
 9. カニカラからキトサンの発酵生産とその応用. 松田英幸, 中国四国地域農林水産・食品先進技術研究協議会, 第2回中四国先進技術シンポジウム講演要旨集, pp. 40-44, 1993.
 10. 分裂酵母の有性生殖過程を支配するシグナル因子. 川向 誠, 重点領域研究(細胞周期)第一回合同班会議, p. 22, 1993.
 11. 高温・好気法による高濃度有機廃水処理-有機物の完全酸化と蒸発-森 忠洋・劉 宝鋼・趙 敬淑, 化学工業, **11**: 52-58, 1993.
 12. 有機物緑農地利用のための課題. 森 忠洋, 用水と排水, **35**: 5-10, 1993.
 13. ゼオライトコンポスト-島根県の事例- 伊藤富夫・石破 智・飯島 宏・森 忠洋・野田修司・田村明長, 同, **35**: 35-40, 1993.
 14. メンヨウにおける粉末油脂添加と飼料の利用性について. 藤原 勉. 日本畜産学会関西支部報, **124**: 18-
- [翻訳]
1. 第19章 組織周期分子機構(松橋通生ら監訳「ワトソン・組換えDNAの分子生物学」所収). 川向 誠,

19, 1993.

15. マレーシアの畜産. 藤原 勉, 日本学術振興会国際
共同研究報告書. 21 pp., 1993.

農学部附属農場

University Farms Attached to Faculty of Agriculture

伊藤 憲弘 ・ 植田 尚文
Norihiro ITO Hisafumi UEDA
福田 晟 ・ 青木 宣明
Akira FUKUDA Noriaki AOKI
宇津田 嘉弘 ・ 浅尾 俊樹
Yoshihiro UZUTA Toshiki ASAO
内藤 整
Hitoshi NAITO

[論 文]

1. 山陰地域の冬期強風による茶樹の葉身被害の発生.
第1報 圃場で観察される葉身水ポテンシャルの低下と被害発生との関係. 福田 晟・山谷 聡・小葉田 亨・今木 正, 日作紀, **62**:188-192, 1993.
2. 山陰地域の冬期強風による茶樹の葉身被害の発生.
第2報 葉身水ポテンシャル低下の原因としての低温下における葉身と根の水通導抵抗の増大. 福田 晟・山谷 聡・小葉田 亨・今木 正, 日作紀, **62**:193-198, 1993.
3. 土性の異なる3種土壌における不耕起栽培の比較研究. 第2報 壤質砂土LSの砂質土壌に対する適応性. 福田 晟・伊藤憲弘・坂井直樹・春原 亘・米川智司・伊藤道秋・遠藤織太郎, 農作業研究, **78**:115-121, 1993.
4. Studies on production of nursery stock in tree peony(1). Effects of bud position of scion, binding materials, time, cultivar and temperature after grafting on graft-take of grafted tree peony. AOKI, N. and I. INOUE, Bull. Fac. Agr. Shimane Univ., **26**:83-89, 1992.
5. Influence of the nutrient solution concentrations on cracking of cherry tomato fruit grown hydroponically. OHTA, K., N. ITO, T. HOSOKI, K. ENDO and O. KAJIKAWA, J. Japan. Soc. Hort. Sci., **62**:407-412, 1993.
6. 水耕ミニトマトの裂果発生の品種間差異について. 太田勝巳・伊藤憲弘・細木高志・戒田昌子, 近畿中国農研, **85**:46-49, 1993.

[学会発表等]

1. 苗生産時の掘り上げ処理と予備冷蔵の有無がボタン品種の促成開花に及ぼす影響. 青木宣明, 園学雑, **62**(別1): 408-409, 1993.

[その他]

1. 仔牛模範削蹄実演会の開催. 宇津田嘉弘, 蹄, **155**(6): 28-29, 1991.
2. 今年主役 羊(ひつじ)の紹介. 宇津田嘉弘, 同, **156**(12): 44-46, 1991.
3. 今年主役 サルは“馬の守神”. 宇津田嘉弘, 同, **158**(3): 40-41, 1992.
4. 牛蹄への蹄油塗布のすすめ, 第2回 仔牛模範削蹄実演会(島根)でのおどろき. 宇津田嘉弘, 同, **159**(1): 17-19, 1992.
5. 和牛の繁殖地域における牛とめん羊の共存, めん羊の低コスト生産を目指して. 宇津田嘉弘, シープ・ジャパン, **4**: 21-22, 1992.
6. 子供の時から家畜にふれあいを, 家畜の絵コンクール作品展から. 宇津田嘉弘, 蹄, **162**(4): 48-50, 1992.
7. 初夏を告げる一大絵巻 壬生の花田植 - 地域文化をになう牛たち - 宇津田嘉弘, 蹄, **163**(1): 52-53, 1993.
8. 削蹄(護蹄)の知識と技術の10か条. (幡谷正明ら編「特集: 牛の蹄病について考える」所収). 獣医畜産新報, **9**: 743-748, 1993.

農学部附属演習林

University Forests Attached to
Faculty of Agriculture

瀧本 義彦・新村 義昭
Yoshihiko TAKIMOTO Yoshiaki SINMURA
西野 吉彦
Yoshihiko NISHINO

[著書]

1. 表層土砂の移動量と風倒木の切断根系 - アテ択伐林とスギ人工林での表層土保全効果の測定 - (島根大学森林環境学講座編「能登のアテ択伐林業」所収). 新村義昭, 森林計画学会出版局, 東京, pp. 70-81, 1993.

[論文]

1. ドイツ製枝払い装置 Baum Hexe の枝打ち作業への適用試験 (I) 装置の人力及び機械移動に関する作業工程と作業者の生理的負担について. 沼田邦彦・山本俊明・鈴木保志・酒井徹朗・神崎康一・瀧本義彦・芝 正巳・石川知明, 京大演報, **64**: 156-164, 1992.
2. ドイツ製枝払い装置 Baum Hexe の枝打ち作業への適用試験 (II) 枝打ち跡の仕上がりと損傷について. 鈴木保志・沼田邦彦・山本俊明・酒井徹朗・神崎康一・瀧本義彦・芝 正巳・石川知明, 同, **64**: 165-172, 1992.
3. 中国毛烏素沙地で観察された早柳の収穫環. 新村義昭, 日本緑化工学会誌, **18**: 129-133, 1992.
4. 林内作業道開設に伴って切断された樹木根系の直径階分布. 新村義昭・川上誠一, 新砂防, **185**: 35-41, 1993.
5. 島根大学三瓶演習林の最上流域に設定された微小流域における水文観測 (2). 新村義昭・長山泰秀・金子信博・片桐成夫, 山陰地域研究, **9**: 111-116, 1993.
6. 水分傾斜をもつ木材梁の両端自由たわみ振動 (第1報). 基本モードにより得られる見かけのヤング率の理論的解析. 西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 木材学会誌, **38**: 825-829, 1992.
7. 水分傾斜をもつ木材梁の両端自由たわみ振動 (第2報). Rayleigh 商のコンピュータを用いた数値積分法による解と伝達マトリクス法によるシミュレーション

- ン. 西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, **38**: 830-834, 1992.
8. 切削工具のアコースティック・エミッションによる摩耗判定. 田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・浜口利一・高橋 徹, 同, **38**: 841-846, 1992.
 9. 水分傾斜をもつ木材梁の両端自由たわみ振動 (第 3 報). 共振時における梁の振動形状の変化. 西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, **38**: 1063-1065, 1992.
 10. 木工用帯のこ盤送材速度の自動制御. 田中千秋・趙春瑞・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 同, **38**: 1172-1174, 1992.
 11. 防腐処理木材が生体に及ぼす影響. 西野吉彦・梅林寺幹和・谷川 充・高橋 徹・中尾哲也・田中千秋, 島根大農研報, **26**, 91-95, 1992.
 12. 木工用帯鋸の最適化適応制御加工に関する研究 (第 3 報). 挽き幅と含水率が A E 信号, 切削力, 挽き材面粗さおよび鋸変位に及ぼす影響. 趙 春瑞・田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 池田茂人, 木材学会誌, **39**, 138-143, 1993.
 13. 水分傾斜をもつ木材梁の両端自由たわみ振動 (第 4 報). 3 次元拡散モデルを用いた吸湿時の固有角振動数変化のシミュレーション. 西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, **39**: 382-387, 1993.
 6. バイト切削における横分力と被削材の繊維方向の関係. 池田茂人・趙 春瑞・田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 同, pp. 32-33, 1993.
 7. 小型簡易音響室による木質材料の透過損失. 姜 日順・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 38-39, 1993.
 8. 木質ボードの曲げヤング率のたわみ速度依存性について. 董 玉庫・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 40-41, 1993.
 9. 防腐処理木材が生体へ与える影響. 処理木材の冷水抽出物がマウスに与える影響. 梅林寺幹和・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 66-67, 1993.
 10. 小型簡易音響室による木質材料の透過損失に関する研究 (第 2 報). 姜 日順・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 第 43 回日本木材学会研究発表要旨集, p. 57, 1993.
 11. 木造住宅および R C 造住宅における音環境の相違について. 西 政敏・牧平経生・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 62, 1993.
 12. ベネフィット構造分析法による住宅の住み心地の調査研究. 岩切祥子・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 68, 1993.
 13. 帯のこによる挽き材面粗さと樹種の関係. 田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 同, p. 150, 1993.
 14. レビンソン理論による木材の振動解析. 中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 244, 1993.
 15. C C A 処理木材の燃焼ガスがマウスに与える影響. 梅林寺幹和・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 258, 1993.
 16. 防腐処理木材の燃焼ガス分析. 西野吉彦・梅林寺幹和・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 386, 1993.
 17. 断面内不均質木質ボードの動的性質に関する研究 (第 1 報). 董 玉庫・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 419, 1993.

〔学会発表等〕

1. 林業労働災害と労働安全に関する研究 (II) 大学演習林における林業労働災害の要因分析. 瀧本義彦・西森恭吾・山本俊明, 第 104 回日本林学会大会要旨集, p. 350, 1993.
2. 森林作業の労働科学的評価法 心拍数によるエネルギー消費量の推定. 瀧本義彦・市村秀樹・松原周信, 同, p. 366, 1993.
3. 長さ方向にヤング率の分布をもつ木材梁の振動特性 - 無水マレイン酸による気相反応の利用 - 藤本隆・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 日本木材学会中国・四国支部第 5 回研究発表会要旨集, pp. 20-21, 1993.
4. レビンソン理論による木材の振動解析. 中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 22-23, 1993.
5. 木造住宅および R C 造住宅における超音波の遮音性. 西 政敏・牧平経生・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 26-27, 1993.
1. 沙漠で林業をと思いつめているわけ. 新村義昭, 林業技術, **611**: 34-38, 1993.

〔その他〕

新任教官

地域開発科学科 農山村地域経営学

仙田 久仁男

Kunio SENDA

[著書]

1. 地代理論の諸問題. 仙田久仁男, 法律文化社, 京都, viii+284 pp., 1981.
2. 価値と価格法則の理論. 仙田久仁男, 創風社, 東京, viii+228 pp., 1992.
3. 農業経営構造の再編と方向 (頼平編「国際化時代の農業経済学」所収). 仙田久仁男, 富民協会, 東京, pp. 350-364, 1992.

[論文]

1. 農産物価格理論の再検討. 仙田久仁男, 農業経済研究, 43(3):109-116, 1971.
2. 農地価格の理論的諸問題. 仙田久仁男, 同, 44(4):188-194, 1973.
3. 都市近郊農地の価格形成に関する一考察. 仙田久仁男, 農林業問題研究, 11(1):36-42, 1975.
4. 小農における価値生産と農産物価格形成に関する一試論. 仙田久仁男, 農業経済研究, 47(1):33-39, 1975.
5. マルクス絶対地代論の展開方法. 仙田久仁男, 経済科学論集, 1:48-82, 1975.
6. 現代農法論への若干の評注. 仙田久仁男, 農村開発, 7:3-23, 1976.
7. いわゆる過渡的地代の理論的考察. 仙田久仁男, 経済科学論集, 2:30-53, 1976.
8. 過渡的地代の論理. 仙田久仁男, 農林業問題研究, 12(4):27-35, 1976.
9. 価値法則, 価値の分割法則と地代. 仙田久仁男, 経済科学論集, 4:31-65, 1978.
10. 差額地代第二形態論への一視点. 仙田久仁男, 農林業問題研究, 15(4):49-56, 1979.
11. 労働実体を欠く価値の存在と差額地代. 仙田久仁男, 経済科学論集, 5:95-150, 1979.
12. 林業における地代理論. 仙田久仁男, 同, 6:1-36, 1980.
13. 農地の流動化と地代 (上村恵一教授定年退官記念論文集「地域農業の振興と計画」所収). 仙田久仁男,

楽游書房, 京都, pp. 46-57, 1981.

14. 小農における価格法則・再論. 仙田久仁男, 経済科学論集, 8:28-54, 1982.
15. 独占価格の法則に関する一試論. 仙田久仁男, 同, 9:43-63, 1984.
16. 独占価格の理論的規定〔I〕, 〔II〕. 仙田久仁男, 同, 10:26-51, 1985; 12:61-87, 1986.
17. 価格法則研究の諸前提. 仙田久仁男, 同, 11:175-202, 1986.
18. 農産物価格の分析方法試論. 仙田久仁男, 同, 13:49-69, 1987.
19. 差額地代第二形態の理論的諸規定. 仙田久仁男, 同, 16:1-39, 1990.
20. 市場価値法則の理論. 仙田久仁男, 同, 17:33-59, 1991.
21. 地代理論の総括. 仙田久仁男, 経済科学論集, 19:83-112, 1993.

[学会発表等]

1. マルクス絶対地代論の展開方法. 仙田久仁男, 1974年度日本農業経済学会大会報告要旨, pp. 18-19, 1974.
2. 都市近郊農地の価格形成に関する一考察. 仙田久仁男, 第24回関西農業経済学会大会報告要旨, p. 51, 1974.
3. 価値法則, 価値の分割法則と地代. 仙田久仁男, 中四国商経学会第19回大会報告要旨, p. 10, 1978.
4. 差額地代第二形態論への一視点. 仙田久仁男, 1979年度日本農業経済学会大会報告要旨, pp. 82-83, 1979.
5. 独占価格論への一視点. 仙田久仁男, 社会経済史学会・土地制度史学会中国四国部会1981年度大会報告要旨, p. 10, 1981.
6. 独占価格の法則に関する一試論. 仙田久仁男, 1982年度土地制度史学会秋季学術大会報告要旨, pp. 16-19, 1982.
7. 価格法則研究の諸前提について. 仙田久仁男, 中四国商経学会第26回大会報告要旨, p. 16, 1985.
8. 独占価格規定の諸論点. 仙田久仁男, 中四国商経学会第27回大会報告要旨, p. 1, 1986.
9. 農産物価格の分析方法について. 仙田久仁男, 1987年度日本農業経済学会大会報告要旨, pp. 43-44, 1987.
10. 価格法則と生産価格. 仙田久仁男, 中四国商経学会

第29回大会報告要旨, p. 11, 1988.

地域開発科学科 農村工学

[翻訳]

1. 第41章 差額地代Ⅱ－第一例 生産価格が不変な場合；第42章 差額地代Ⅱ－第二例 生産価格が低下する場合（資本論翻訳委員会「カール・マルクス資本論 第12分冊」所収）。仙田久仁男，新日本出版社，東京，pp. 1204-1243, 1989.

[その他]

1. ブックガイド（花田仁伍著「小農経済の理論と展開」）。仙田久仁男，農業と経済，**37(9)**：70-71, 1971.
2. ブックガイド（碓 正男著「地価をこう見る」）。仙田久仁男，同，**40(3)**：77, 1974.
3. ブックガイド（阪本楠彦著「地代論講義」）。仙田久仁男，同，**45(3)**：86, 1979.
4. 書評（久野重明・暉峻衆三・東井正美編著「現代日本の農業問題」）。仙田久仁男，農林業問題研究，**18(2)**：46-47, 1982.
5. ブックガイド（阪本楠彦著「土地価格論」）。仙田久仁男，農業と経済，**48(12)**：6, 1982.
6. ブックガイド（阪本楠彦編「土地価格の総合的研究」）。仙田久仁男，同，**50(7)**：95, 1984.
7. 書評（丹野清秋著「土地所有論」）。仙田久仁男，農業経済研究，**56(3)**：190-191, 1984.
8. 書評（山田良治著「戦後日本の地価形成」）。仙田久仁男，農林業問題研究，**27(2)**：56-57, 1991.

森 也寸志

Yasushi Mori

[論文]

1. 土地利用による土壌間隙構造の差異－軟X線による観察を中心にして－森也寸志・志賀摂子・岩間憲治・渡辺紹裕・丸山利輔，土壌の物理性，**66**：19-27, 1992.

[学会発表等]

1. 水稻根遺体が透水性に及ぼす影響について－軟X線を用いた観察－森也寸志・渡辺紹裕・丸山利輔・岩間憲治・志賀摂子，平4農土学会大会講演要旨，pp. 166-167, 1992.
2. 水田土壌における間隙の形成と形態に関する研究－土壌中の水・物質移動に関する基礎的研究－森也寸志・渡辺紹裕・丸山利輔，平5農土学会大会講演要旨，pp. 18-19, 1993.

生物資源科学科 応用生物機能学

一戸俊義

Toshiyoshi ICHINOHE

〔論文〕

1. Change in particle size distribution of rumen digesta with time after feeding in sheep given hay once daily. ICHINOHE, T., T. TAMURA, T. NGWE, T. MOROOKA, M. OKUBO and Y. ASAHIDA, A. J. A. S., 2:370-371, 1989.
 2. 乾草の品質差異が反芻胃内容物粒度微細化におよぼす影響. 一戸俊義, 北海道大学大学院農学研究科修士論文, 116 pp., 1990.
 3. 刈取り期の異なるオーチャードグラス乾草を1日1回給与しためん羊における反芻胃内容物量の経時変化. 一戸俊義・田村 忠・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 日緬研会誌, 29:45-50, 1992.
 4. 反芻胃内飼料片の粒度別動態解析. 一戸俊義, 北海道大学大学院農学研究科博士論文, 133 pp., 1993.
- 〔学会発表等〕
1. 湿式篩別法による反芻胃内容物粒度の測定. 一戸俊義・ティン グエイ・諸岡敏生・大久保正彦・朝日田康司, 第81回日本畜産学会大会要旨, p. 22, 1989.
 2. 刈取り時期の異なる乾草を給与しためん羊における反芻胃内容物粒度分布の経時変化. 杉本昌仁・一戸俊義・田村 忠・ティン グエイ・諸岡敏生・大久保正彦・朝日田 康司, 第83回日本畜産学会大会講演要旨, p. 69, 1990.
 3. 希土類元素マーカーによる飼料の粒度別反芻胃内通過速度の測定. 一戸俊義・田村 忠・ティン グエイ・杉本昌仁・諸岡敏生・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 69, 1990.
 4. めん羊における反芻胃内容物粒度別分画のダイナミックスと乾物消失の関連. 一戸俊義・杉本昌仁・田村忠・諸岡敏生・大久保正彦・朝日田康司, 日本畜産学会北海道支部会報, 33:23, 1990.
 5. 希土類元素マーカーによる飼料の粒度別反芻胃内微細化速度および通過速度の測定. 杉本昌仁・上田宏一郎・一戸俊義・大久保正彦・朝日田康司, 第84回日本畜産学会大会発表要旨, p. 161, 1991.
 6. 反芻胃内容物粒度別分画の微細化量の推定, 一戸俊義・小田徹男・杉本昌仁・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 162, 1991.
 7. 品質の異なる乾草を給与しためん羊における摂取飼料片粒度別分画の反芻胃内ダイナミックス. 一戸俊義・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 北海道畜産学会会報, 34:21, 1991.
 8. オーチャードグラス乾草を給与しためん羊における反芻胃内容物粒度別分画中繊維成分含量の推移. 上田宏一郎・一戸俊義・大久保正彦・朝日田康司, 第85回日本畜産学会大会発表要旨, p. 230, 1992.
 9. 反芻胃内容物粒度別分画の微細化, 発酵, 通過による消失速度の測定. 一戸俊義・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 230, 1992.
 10. オーチャードグラス乾草を給与しためん羊における反芻胃内容物粒度別分画の成分別発酵速度. 上田宏一郎・田村 忠・一戸俊義・大久保正彦・朝日田康司, 第86回日本畜産学会大会発表要旨, p. 30, 1992.
 11. オーチャードグラス乾草を給与しためん羊における十二指腸内容物粒度別分画の繊維成分含量. 上田宏一郎・田村 忠・一戸俊義・大久保正彦・朝日田康司, 第87回日本畜産学会大会発表要旨, p. 139, 1993.
 12. 粒度別反芻胃内飼料片が反芻胃を通過するまでに受ける微細化、発酵の割合の推定. 田村 忠・一戸俊義・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 140, 1993.
 13. 反芻胃内粗飼料片粒度別分画重量の推定. 一戸俊義・田村 忠・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 140, 1993.
 14. 刈取り時期の異なる乾草を給与しためん羊の反芻時咀嚼による反芻胃内粗飼料 粒度別分画の消失. 一戸俊義・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 日本畜産学会関西支部報, 125:10, 1993.

農学部附属農場

浅尾俊樹
Toshiki ASAO

[論文]

1. 水耕トマトにケイ酸施肥は必要か. 浅尾俊樹, ハイドロポニックス, **6**:15-19, 1992.

[学会発表等]

1. アイリス属植物の組織培養による増殖(第3報) ハナショウブの花器, 花茎および茎頂の培養. 河瀬晃四郎・浅尾俊樹・吉岡麻理, 園学雑, **61(別2)**:472-473, 1992.

[その他]

1. 組織培養におけるシベリア・アイリスの花被基部組織および子房からの苗条形成. 浅尾俊樹・河瀬晃四郎・吉岡麻理, 植物組織培養, **10**:188-190, 1993.

農学部附属農場

内藤 整
Hitoshi NAITO

[論文]

1. 水稻苗に対する移植直前の高窒素濃度処理が生育と収量に及ぼす影響. 江原 宏・土屋幹夫・内藤 整・小合龍夫, 日作紀, **61**:1-9, 1992.
2. 塩分濃度に対するイネの生理反応に関する研究 第1報 蒸散とNa⁺の吸収移行の関係について. 土屋幹夫・内藤 整・江原 宏・小合龍夫, 日作紀, **61**:16-21, 1992.
3. Salt exclusion rate in rice roots in relation to ion species. TSUCHIYA, M., H. NAITO, Y. TAKAGI and S. KUMANO, Sci. Rep. Fac. Agr. Okayama Univ., **82**:17-23, 1993.

[学会発表等]

1. 岡山県南部におけるイグサ栽培理論の実践. 土屋幹夫・内藤 整・小合龍夫, 日本作物学会中国支部研究収録, **29**:42-43, 1988.
2. 稲におけるNa⁺の吸収・移行と蒸散量の関係について. 土屋幹夫・内藤 整・藤井 誠・花田ゆり・小合龍夫, 同, **30**:47-48, 1989.
3. 塩分条件下におけるイネの根部呼吸速度, 蒸散速度および光合成速度と蒸散流Na⁺濃度係数との関係. 内藤 整・土屋幹夫・熊野誠一, 同, **33**:46-47, 1992.
4. 高NaCl濃度下におけるイネのNa⁺吸収と蒸散速度および根部呼吸速度との関係. 内藤 整・土屋幹夫・熊野誠一, 日作紀, **62(別1)**:138-139, 1993.
5. 高NaCl濃度下におけるイネの根のNa⁺排除機作について. 土屋幹夫・三宅 幸・内藤 整, 日作紀, **62(別1)**:140-141, 1993.
6. 培地 NaCl 濃度条件に対するイネの順応について. 土屋幹夫・平井達也・内藤 整・熊野誠一, 日本作物学会中国支部研究収録, **34**:50-51, 1993.

遺伝子実験施設

Research Institute of Molecular Genetics

落合 英夫 ・ 中川 強
 Hideo OCHIAI Tsuyoshi NAKAGAWA
 芦田 裕之
 Hiroyuki ASHIDA

〔著書〕

1. Import of the nuclear-coded cytochrome *c* oxidase subunit into plant mitochondria. In MURATA, N.(ed.), *Research in Photosynthesis. Vol. 3.* NAKAGAWA, T., K. KATASHIBA, M. KAWAMUKAI, H. OCHIAI and H. MATSUDA, Kluwer Acad. Pub., Netherlands, pp. 157-160, 1992.
2. Function analysis of cyanobacterial plasmids: pPF1 (*Phormidium foveolarum*) and pMA1 (*Microcystis aeruginosa*). Ibid., TOMINAGA, H., Y. HAYASHIDA, H. ASHIDA, Y. SAWA and H. OCHIAI, Ditto, pp. 307-310. 1992.

〔論文〕

1. Continuous chitosan hydrolyzate production by immobilized chitosanolytic enzyme from *Enterobacter* sp. G-1. YAMASAKI, Y., I. FUKUMOTO, N. KUMAGAI, Y. OHTA, T. NAKAGAWA, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, Biosci. Biotech. Biochem., **56**: 1546-1551, 1992.
2. Purification and mode of action of chitosanolytic enzyme from *Enterobacter* sp. G-1. YAMASAKI, Y., I. HAYASHI, Y. OHTA, T. NAKAGAWA, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, Ibid., **57**: 444-449, 1993.
3. The nuclear gene for subunit Vc of sweet potato cytochrome *c* oxidase. NAKAGAWA, T., M. MAESHIMA, K. NAKAMURA and T. ASAHI, Plant Cell Physiol., **34**: 621-626, 1993.

〔学会発表等〕

1. 大腸菌の *p*-hydroxybenzoate polyprenylpyrophosphate transferase をコードする *ubiA* 遺伝子の構造解析. 鈴木謙吾・植田 稔・湯浅美穂子・中川 強・川向 誠・松田英幸, 日本農芸化学会関西

支部大会及びシンポジウム講演要旨集, p. 31, 1992.

2. *Cytophage* 菌のキトサナーゼの精製と性質. 落合伸久・山崎幸一・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・松田英幸, 日本生化学会誌, **64**: 1000, 1992.
3. チトクロームオキシダーゼ核コードサブユニットの植物ミトコンドリアへの移行. 片芝謙一・川向 誠・松田英幸・芦田裕之・中川 強, 日本分子生物学会年会講演要旨集, p. 293, 1992.
4. 大腸菌DNA結合タンパク質SFS 1 とマルトース代謝誘導. 秋元千百合・武田和彦・中川 強・川向 誠, 同, p. 332, 1992.
5. ヒトCAP (Cyclase Associated Protein) 遺伝子ホモログの単離. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, p. 341, 1992.
6. 葉緑体内リボース-5-リン酸キナーゼの精製と性質. 柴田 均・秋好淳子・澤 嘉弘・落合英夫. Plant & Cell Physiol., **34** (Supplement): S78, 1993.
7. アラビドプシスのサイクロフィリン遺伝子の構造. 斉藤 武・川向 誠・松田英幸・芦田裕之・中川 強, 日本農芸化学会誌, **67**: 254, 1993.
8. ラン藻アミノ酸代謝系酵素の相同性解析. 澤 嘉弘・中岡正樹・光吉久美子・芦田裕之・柴田 均・落合英夫, 同, **67**: 340, 1993.
9. 大腸菌のエピキノン生合成に関する *ubiA*・C 遺伝子の発現制御機構. 鈴木謙吾・植田 稔・湯浅美穂子・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 382, 1993.
10. シアノバクテリア (ラン藻) *Microcystis aeruginosa* のプラスミド. 富永宏志・副島 幹・神吉宏明・芦田裕之・澤 嘉弘・落合英夫, 同, **67**: 388, 1993.
11. 糸状性ラン藻における重金属耐性遺伝子のクローニング. 芦田裕之・湊 裕志・中川 強・澤 嘉弘・落合英夫, 同, **67**: 390, 1993.
12. 分裂酵母の有性生殖過程のシグナル伝達に関する *sam* 変異株の単離と性質. 片山 諭・高尾恒太・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 416, 1993.
13. 分裂酵母の有性生殖過程に働く *mcs 24* 遺伝子と cAMP 系. 足立欣己・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**: 416, 1993.
14. ヒトCAP (Cyclase Associated Protein) 遺伝子ホモログと細胞骨格形成. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, **67**: 416, 1993.
15. *Cytophage* sp. 3001のキトサナーゼの作用機作とそ

の誘導について. 落合伸久・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **67**:504, 1993.

16. *Enterobacter* sp. G-1の生成するN-アセチルグルコサミニダーゼの精製と性質. 山崎幸一・諏訪邦宏・太田ゆかり・中川 強・川向 誠・小村洋司・松田英幸, 第7回キチン・キトサンシンポジウム講演要旨集, p. 61, 1993.
17. Cyclophilin/peptidyl-prolyl isomerase genes in arabidopsis (*Arabidopsis thaliana*). NAKAGAWA, T., T. SAITO, M. KAWAMUKAI, H. ASHIDA, H. OCHIAI and H. MATSUDA, Abst. XVth Int. Bot. Cong. (Yokohama), p. 519, 1993.
18. Import of the nuclear-encoded subunit of sweet potato cytochrome *c* oxidase into mitochondria (*Ipomoea batatas*). NAKAGAWA, T., Ibid., p. 77, 1993.